T-1604110

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用

ポーチテラス カフェスタイル
ポーチテラス カフェスタイル 腰壁タイプ　共通

壁付
独立(壁寄せ)

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

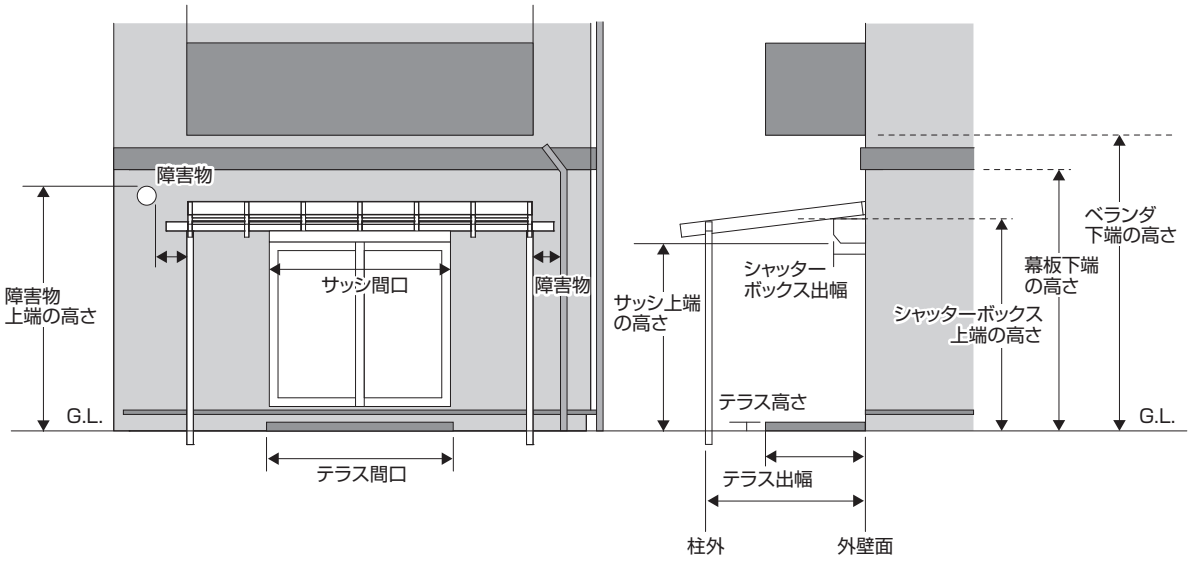
安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

現場調査時のご注意

⚠ 注意



●商品ごとに必要な寸法は異なります。上の図を基に採寸してください。　●敷地境界を越えないようにご注意ください。
●建物の雨樋が障害となる場合は、現地対応が必要となります。

その他確認事項
○商品を固定するため、躯体の強度は十分にご確認ください。　○壁面の種類によっては、取り付けの調整が必要です。
○障害物(ブロック塀、樹木、雨樋、エアコン等)や撤去物はないですか?　○取り付けの際に電気、水道が使用できますか?
○基礎となる部分に障害物や埋設物(配水管やガス管、水道管などの埋設物)はないですか?

搬入時のご注意

注 意

●荷降ろしの際は、現地にて木の角材等をご用意いただき、商品の下に置いてキズがつかないようお願いします。
●柱と梁などの屋根部材は最初に使用しますので、作業手順および商品の配置を考えて荷降ろしをしてください。
●搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。
●屋外で保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。

組立・施工上のご注意

警 告

●風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。
特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。
現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(体積)にて施工し、安全を確保してください。
●施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

注 意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。
高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具)などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は2人以上で行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
●通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。
周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所には設置しないでください。商品の性能が低下する可能性があります。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。熱の影響のない場所に設置してください。
●この商品は、木造住宅の1階に取り付けできる設計になっています。
地上設置型商品ですので、それ以外の場所には設置しないでください。
●強風が屋根を吹き上げる恐れのある場所には設置しないでください。商品の破損や事故の原因になります。
●躯体に取り付ける部材(垂木掛け等)位置に、十分な強度を有する躯体部材(柱、桁、胴差し等)があることを確認してください。
●アルミ製品は、鉄や銅など(ステンレス以外)の異種金属と直接接触すると、腐食する可能性があります。
接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの処理を行ってください。
●腐食成分(塩素イオンなど)を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。
もし使用される場合は、必ずアルミと接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
●商品が腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。
●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。

組立・施工上のご注意

●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。
現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(基礎体積)にて施工し、安全を確保してください。
●基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
●土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保してください。
●安全のため、柱移動は当社指定範囲内にしてください。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
●商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃を与えますと破損事故の原因になりますので、
絶対しないでください。
●商品を異なる材質のものに固定すると温度差により多少伸縮する場合があります。
施工時に、商品に必ず大きめの穴をあけて固定してください。
●商品を異なる材質のものに固定すると温度差により多少伸縮する場合があります。
施工時に、商品に必ず大きめの穴をあけて固定してください。
●柱の水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート(またはモルタル)の抽出液が付着しないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。
付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。

注 意

●コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従って使用してください。
養生期間(4～7日)は十分に確保し、養生期間中は重量物をのせたり、振動させたり、物を立てかけたりはしないでください。
●商品に雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
●雨水等の浸入防止のために、必要な箇所には必ずコーキング材を充填してください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。
特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●寒冷地でご使用になる場合は、柱に水抜き穴をあけて、柱用の穴に柱を立ててから、モルタルを入れてください。
モルタルを入れてから柱を立てると、柱の内部に水がたまり、凍結破損の原因になることがあります。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、
取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

使用上のご注意

警告

●アルミ製品は、高温になる場所では他の金属材料に比べて熱による変形が生じやすい材料です。
商品の近くで火気を使用しないでください。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
●局部的に重い物をのせたり、掛けたりしないでください。

注意

●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。
絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。
ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。
●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●人が乗ったり、体重をかけたりしないでください。
●商品の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色する恐れがあります。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、
かじったりしないように注意してください。
●商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。
手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。
商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、
取り扱いには十分注意してください。
●強い雨の場合、雨水が浸入する可能性がありますので注意してください。
●積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。
●長くお使いいただくためには定期的なメンテナンスをおすすめします。
●安全のため、定期的に接合部のボルト、ナット、ビス等にゆるみがないか確認して使用してください。
ゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は施工店様に依頼し必ず直してください。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。
破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
●商品内部を部屋として使用することはできません。
折戸を閉じた状態でも、豪雨などの悪天候時には商品内部に雨水が入り込むことがあります。
●地域、気候、使用状況により屋根材やパネル部に結露が発生することがあります。
結露水が落ちる場合がありますので、その付近には電気製品などの濡れては困る物を置かないでください。

メンテナンスのご注意

◆汚れの程度と掃除方法

内　容	用　具	方　法
軽い汚れの場合	柔らかい布、スポンジ、水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布、中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように 水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

◆お手入れのご注意

●お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
●金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
●小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
●アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
●小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れたときはからぶきしてください。
●安全のため、定期的にガタツキがないか確認してご使用ください。
●工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
●定期的なお手入れにより、アルミ製品をいつまでも美しく保つことができます。

●お手入れ回数の目安

海岸地帯	工業地帯
年1～4回	年1～3回

市街地	田園地帯
年0.5～2回	年0.5～1回

ポリカーボネート板のお手入れについて

ポリカーボネートはとても擦れキズのつきやすい材質です。擦れキズを防ぐために、市販のポリカーボネート用のコーティング剤を使用することをおすすめします。ポリカーボネート表面を保護、光沢保持することができます。
また、すでについてしまった擦れキズを、ある程度目立たなくすることができます。

◆本体の清掃

●ポリカーボネート板の美しさを保つ効果的な方法は、定期的な水洗いです。

◆お手入れのご注意

●鳥のフンなどを取り除く際には、パネルにキズがつかないように注意してください。
●洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないように十分に洗い流してください。
●シンナー、ベンジン、ガラスクリーナーなどの溶剤、研磨剤、熱湯、乾いた布を使用しますとキズ、破損、変形の恐れがありますので使用しないでください。
●古くなったパネルは、早めに交換してください。強風、衝撃で破損しやすくなります。

施工に必要な工具・資材

●電動ドリル、キリ
●充電式ドライバー、電動ドライバー、プラスドライバー、マイナスドライバー
●巻き尺、水平器、下げ振り、カッター、ペンチ、ゴムハンマー
●切断機または金切りのこ
●コーキング材、カートリッジ用ガン、ヘラ
●その他必要に応じて工具、資材を用意してください。

穴あけ・コーキング処理について

穴あけ加工

左記のマークは現地穴あけ箇所をあらわしています。
説明に従って穴をあけてください。

コーキング

左記のマークはコーキング箇所をあらわしています。
説明に従ってコーキングしてください。

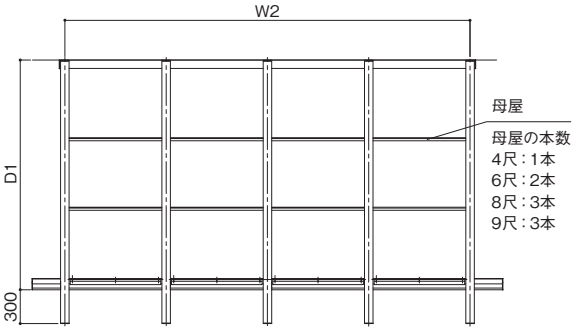
●コーキングは指示箇所すべてを確実に行ってください。
●コーキングする面に付着しているサビ、ほこり、油分、水分などは、きれいに除去してください。
●躯体にあけた下穴は、十分にコーキング材を充填した後、ビス留めしてください。
●コーキング材を十分に深部まで押し込み、表面をヘラなどで滑らかに仕上げてください。

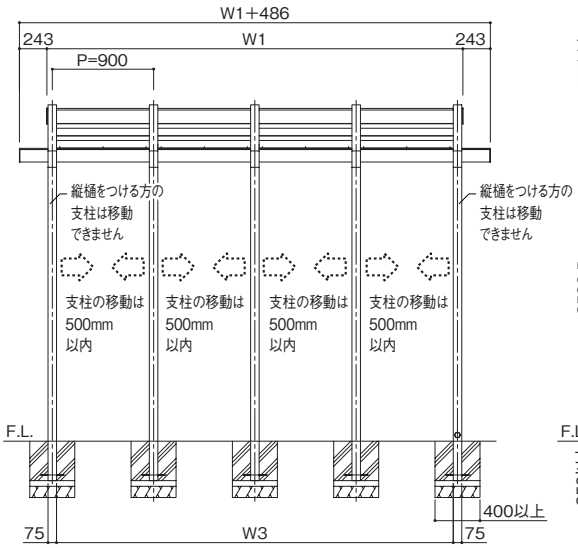
廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物(安定型)になりますので、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

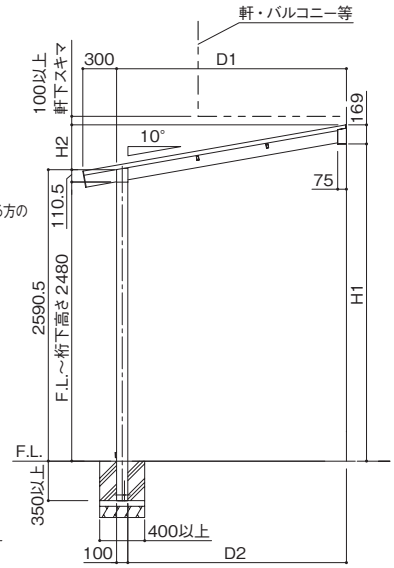
規格寸法表

■ポーチテラス カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) 寸法図

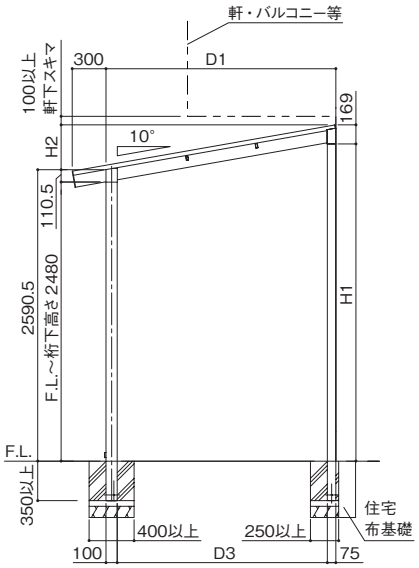




壁付タイプ 側面



独立(壁寄せ)タイプ 側面



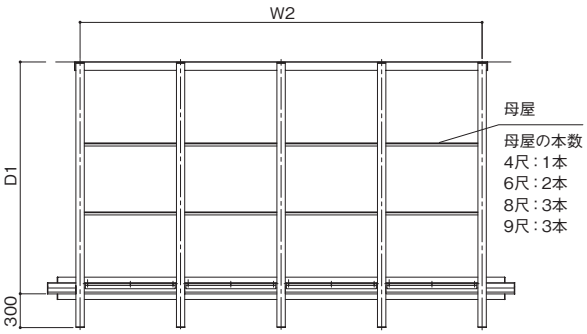
■ポーチテラス カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) 寸法表

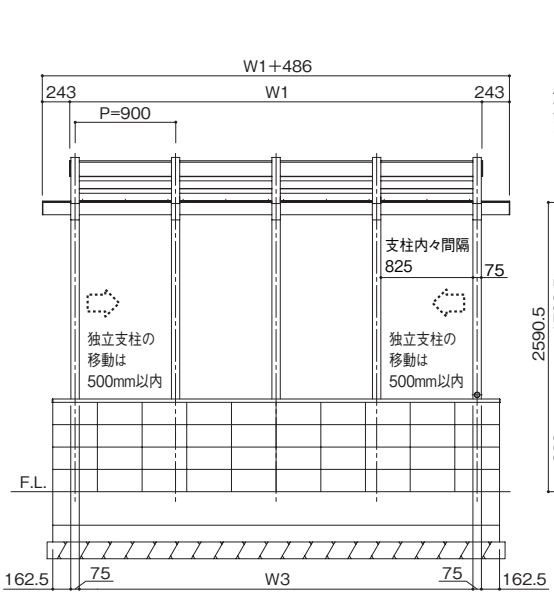
間口	W1 垂木掛外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内々寸法	屋根材枚数
1.0間	1899	1800	1725	2
1.5間	2799	2700	2625	3
2.0間	3699	3600	3525	4

間口	D1 躯体～前枠外寸	D2 支柱～壁面内寸	D3 支柱～独立支柱内寸	H1 F.L. ～垂木掛下端	H2 桁上端～垂木カバー上端
4尺	1250	1150	1075	2681	398.5
6尺	2042	1942	1867	2820	398.5
8尺	2450	2350	2275	2892	470.5
9尺	2897	2797	2722	2971	549.5

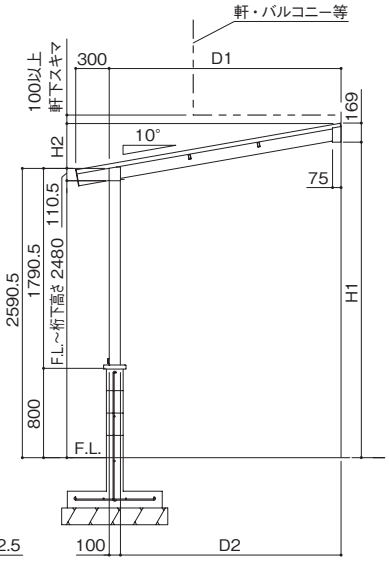
規格寸法表

■ポーチテラス カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) 寸法図

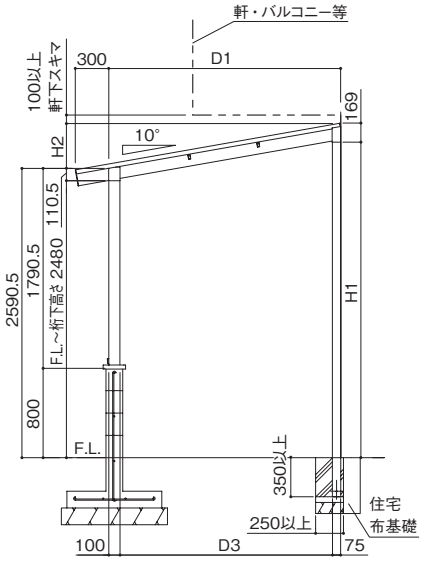




壁付タイプ 側面



独立(壁寄せ)タイプ 側面



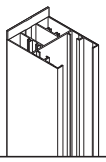
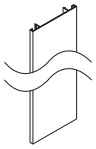
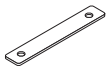
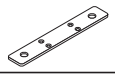
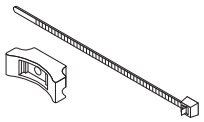
■ポーチテラス カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) 寸法表

間口	W1 垂木掛外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内々寸法	屋根材枚数
1.0間	1899	1800	1725	2
1.5間	2799	2700	2625	3
2.0間	3699	3600	3525	4

間口	D1 躯体～前枠外寸	D2 支柱～壁面内寸	D3 支柱～独立支柱内寸	H1 F.L. ～垂木掛下端	H2 桁上端～垂木カバー上端
4尺	1250	1150	1075	2681	398.5
6尺	2076.5	1976.5	1901.5	2826	404.5
8尺	2450	2350	2275	2892	470.5
9尺	2931.5	2831.5	2756.5	2977	555.5

部品の確認

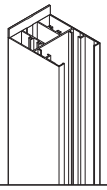
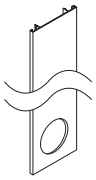
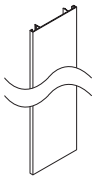
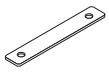
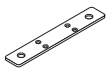
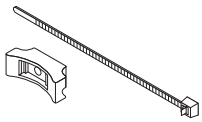
1 ◆支柱　両端用(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) のみ)

名　称	姿　図	数　量
柱(埋込用) 75×100×2850		2
支柱カバー(樋穴付き)		1
支柱カバー		1
支柱取付金具A		2
支柱取付金具B		2
樋サドル		2
かんざし棒		2
ボルト M8×15		4
M8平座金		4
M8バネ座金		4
皿タッピングビス 4×15		10(2)

※(　)内は予備数

部品の確認

2 ◆腰壁支柱 前面パネル付 両端用(カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) のみ)

名 称	姿 図	数 量
腰壁用柱端部 75×100×1684		2
支柱カバー(樋穴付き)		1
支柱カバー		1
支柱取付金具A		2
支柱取付金具B		4
樋サドル		2
ボルト M8×15		8
M8平座金		4
M8バネ座金		4
M8ハットナット		4
皿タッピングビス 4×15		18(2)

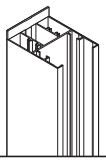
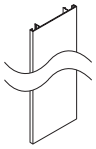
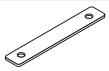
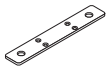
※( )内は予備数

部品の確認

3 ◆縦樋(共通)

名　称	姿　図	数　量
縦樋		1
樋口(取付ビス2個付き)		1
樋エルボ		2
樋口パッキン		2
樋用接着剤		1
樋穴ふさぎ(取付ビス2個付き)		1

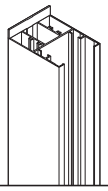
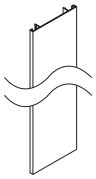
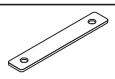
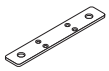
4 ◆支柱　中間用(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) のみ)

名　称	姿　図	数　量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
柱(埋込用) 75×100×2850		1				2				3			
支柱カバー		1				2				3			
支柱取付金具A		1				2				3			
支柱取付金具B		1				2				3			
かんざし棒		1				2				3			
ボルト M8×15		2				4				6			
M8平座金		2				4				6			
M8バネ座金		2				4				6			
皿タッピングビス 4×15		6(2)				10(2)				15(3)			

※( )内は予備数

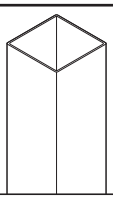
部品の確認

5 ◆腰壁支柱 前面パネル付 中間用(カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) のみ)

名 称	姿 図	数 量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
腰壁用柱中間75×100×1684		1				2				3			
支柱カバー		1				2				3			
支柱取付金具A		1				2				3			
支柱取付金具B		2				4				6			
ボルト M8×15		4				8				12			
M8平座金		2				4				6			
M8バネ座金		2				4				6			
M8ハットナット		2				4				6			
皿タッピングビス 4×15		10(2)				18(2)				28(4)			

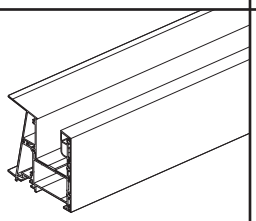
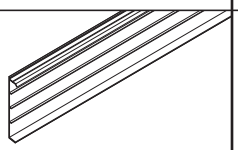
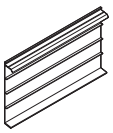
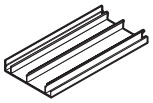
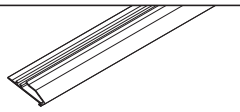
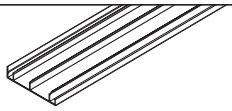
※( )内は予備数

6 ◆支柱B(カフェスタイル 独立(壁寄せ)、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ) のみ)

名 称	姿 図	数 量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
支柱B		2				2				2			
かんざし棒		2				2				2			
φ9 ボタンキャップ		8				8				8			

部品の確認

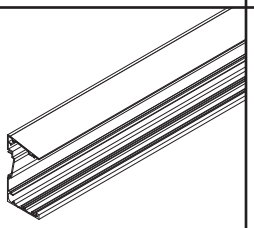
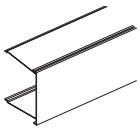
7 ◆桁(共通)

名 称	姿 図	数 量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
桁		1				1				1			
桁用 背面化粧パネル(垂木ピッチ900用)		2				3				4			
桁用 背面化粧パネル(端部用)		2				2				2			
桁用 下面化粧パネル(端部用)		2				2				2			
屋根受け P=900用		2				3				4			
桁用 下面化粧パネル(垂木ピッチ900用)		2				3				4			
桁キャップA(L)		1				1				1			
桁キャップA(R)		1				1				1			
桁キャップB(L)		1				1				1			
桁キャップB(R)		1				1				1			
皿タッピングビス 4×12(キャップ固定用)		21				21				21			
J/EU梁キャップ		3				4				5			
J/EU梁キャップカバー		3				4				5			
J/EU梁後キャップ		3				4				5			
ナベタッピングビス 4×12		60(2)				80(4)				100(6)			

※( )内は予備数

部品の確認

8 ◆垂木掛(共通)

名 称	姿 図	数 量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
垂木掛		1				1				1			
垂木掛カバー		2				3				4			
垂木掛固定金具		3				4				5			
垂木掛キャップA(L)		1				1				1			
垂木掛キャップA(R)		1				1				1			
垂木掛キャップB(L)		1				1				1			
垂木掛キャップB(R)		1				1				1			
皿タッピングビス 4×12(垂木掛キャップ固定用)		8				8				8			
コーチボルト M6×90 ※ 壁付 のみ		8(2)				10(2)				14(2)			
垂木カバーパッキン		3				4				5			

※( )内は予備数

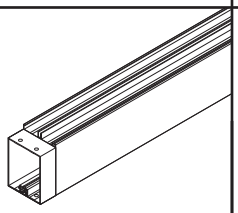
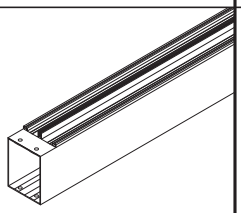
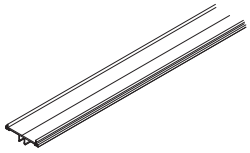
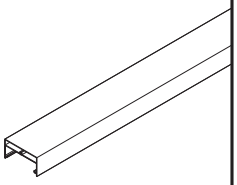
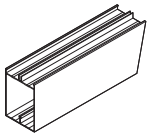
9 ◆垂木掛(カフェスタイル 独立(壁寄せ)、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ) のみ)

名 称	姿 図	数 量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
支柱B固定金具A		4				4				4			
支柱B固定金具B		2				2				2			
十字穴付六角ボルト 6×15		8				8				8			
トラスビス 5×10(頭部着色)		10(2)				10(2)				10(2)			

※( )内は予備数

部品の確認

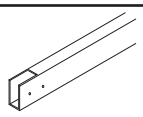
⑩ ◆垂木(共通)

名 称	姿 図	数 量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
垂木 端部用		2				2				2			
垂木 中間用		1				2				3			
J/EU屋根押え		3				4				5			
J/EU屋根押えカバー		3				4				5			
J/EU端部垂木		3				4				5			
母屋ジョイントU金具		4	8	12	12	6	12	18	18	8	16	24	24
トラスビス 6×12		20 (2)	30 (6)	30 (3)	35 (2)	30 (6)	35 (3)	40 (4)	50 (6)	35 (5)	45 (5)	50 (5)	60 (5)
ナベタッピングガイド付 4×15		10 (2)	20 (4)	30 (6)	30 (6)	15 (3)	30 (6)	40 (4)	40 (4)	20 (4)	35 (3)	55 (7)	55 (7)
ドリルビス 4×13(平頭)		10 (2)	20 (4)	30 (6)	30 (6)	20 (8)	30 (6)	40 (4)	40 (4)	20 (4)	40 (8)	50 (2)	50 (2)

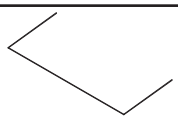
※( )内は予備数

部品の確認

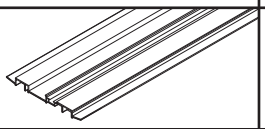
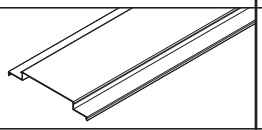
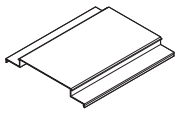
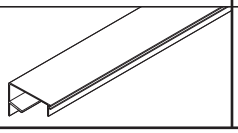
11 ◆母　屋(共通)

名　称	姿　図	数　量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
母屋 20×40(支柱P=900用)		2	4	6	6	3	6	9	9	4	8	12	12

12 ◆屋根材(共通)

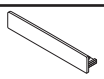
名　称	姿　図	数　量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
屋根材 P=900		2				3				4			

13 ◆笠木(カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) のみ)

名　称	姿　図	数　量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
笠木ベースT		1				1				1			
笠木A(中間用)		2				3				4			
笠木A(端部用)		2				2				2			
笠木B		2				2				2			

部品の確認

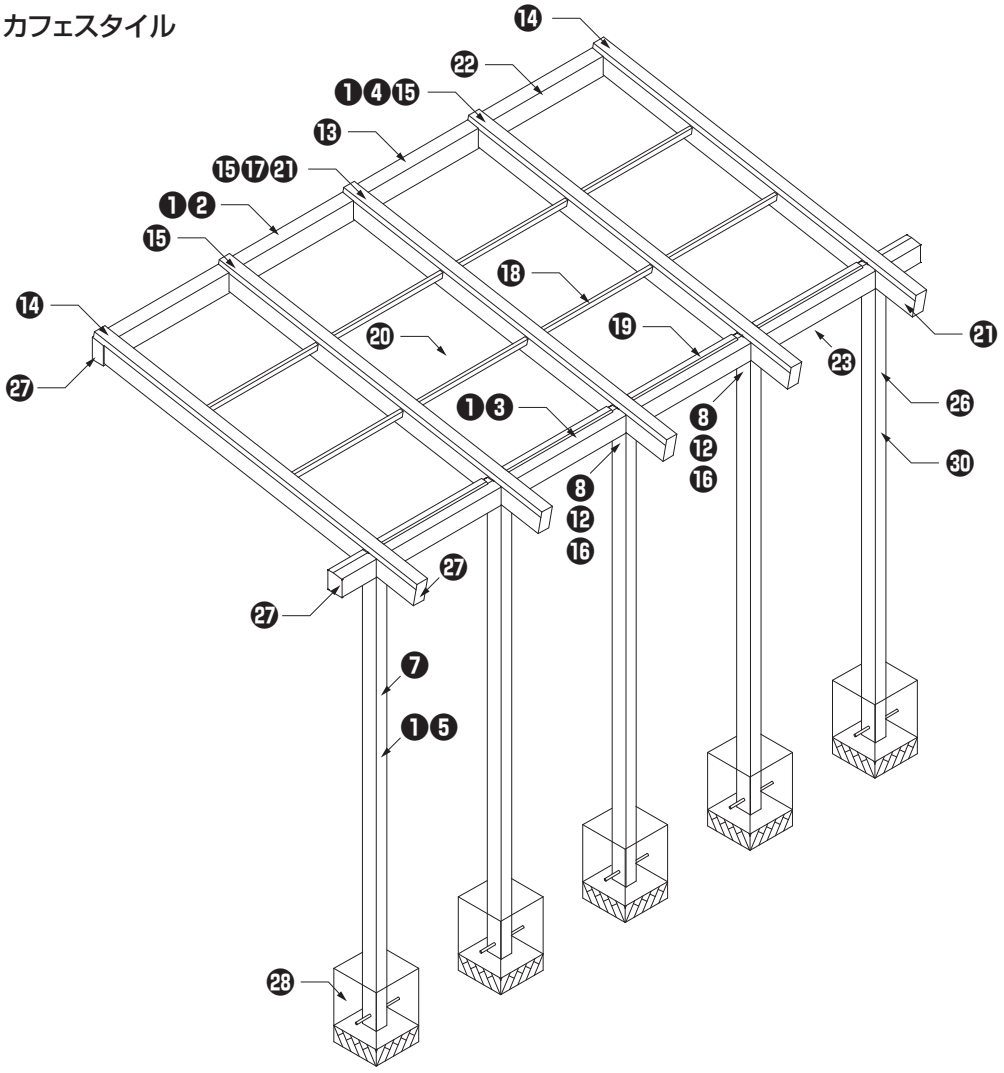
13 ◆笠木(カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) のみ)

名 称	姿 図	数 量											
		1間				1.5間				2間			
		4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺	4尺	6尺	8尺	9尺
笠木キャップ		2				2				2			
ドリルビス 4×13(平頭)		20 (6)				20 (2)				30 (8)			
M8平座金		8				12				16			
ストレートアンカー M8×70L		4				6				8			

※( )内は予備数

施工手順(カフェスタイル 壁付)

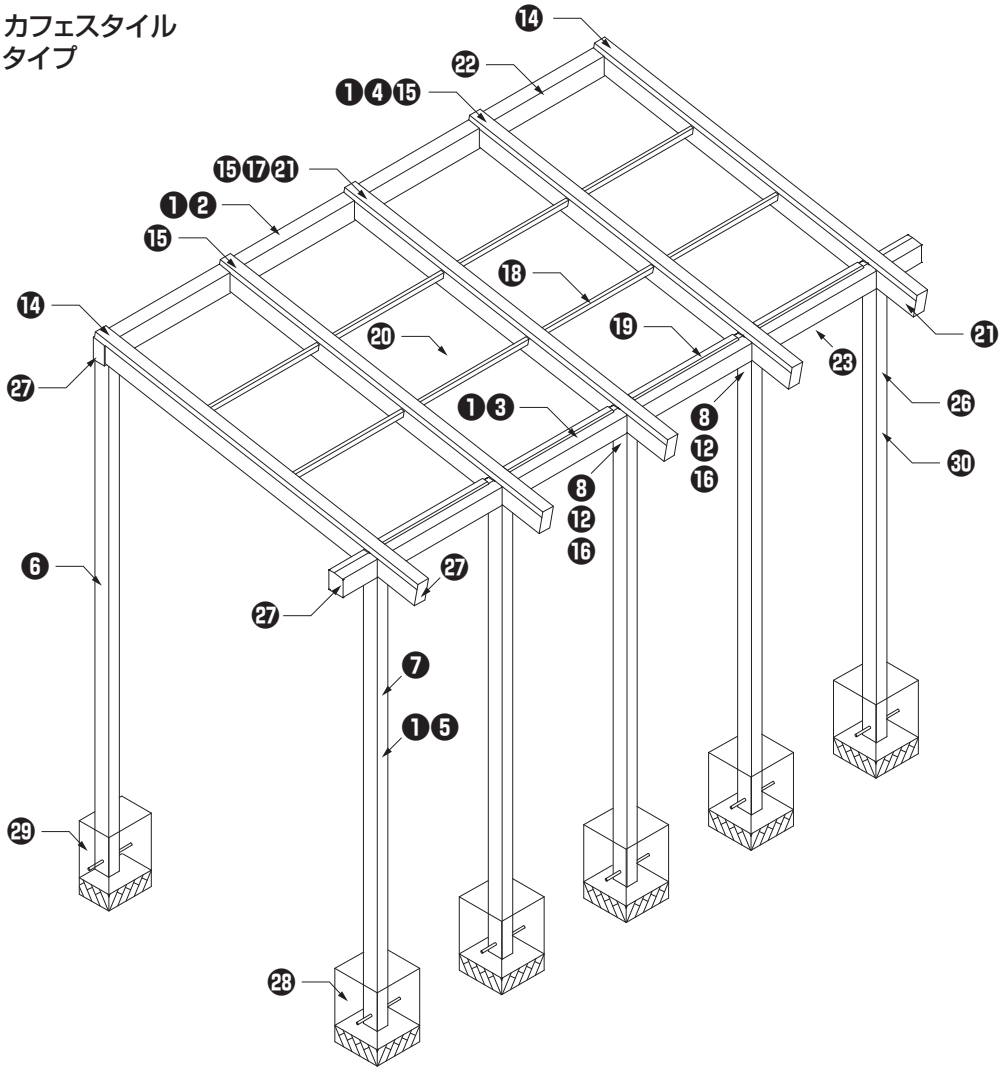
■ポーチテラス カフェスタイル



❶梱包時の垂木掛、桁、支柱の部品の取り外し
❷垂木掛への部品の取り付け
❸桁への部品の取り付け
❹垂木、屋根押えカバーへの部品の取り付け
❺支柱への部品の取り付け
❼支柱の設置(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)
❽支柱、桁の仮組み(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)
⑫支柱、腰壁用柱の移動
⑪垂木掛の取り付け
(カフェスタイル 壁付 、カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 の場合)
⑭端部用垂木の取り付け
⑮中間用垂木の取り付け
⑯支柱、腰壁用柱、桁の固定
⑰各寸法、水平、垂直の確認
⑱母屋の取り付け
⑲屋根受け、桁背面化粧パネルの取り付け
⑳屋根材の取り付け
㉑屋根押え、端部垂木、屋根押えカバーの取り付け
㉒垂木掛カバーの取り付け、屋根周りのコーキング
㉓桁下面化粧パネルの取り付け
㉖縦樋の取り付け
㉗キャップ類の取り付け
㉘支柱の埋設(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)
㉚支柱カバーの取り付け(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)

施工手順(カフェスタイル 独立(壁寄せ))

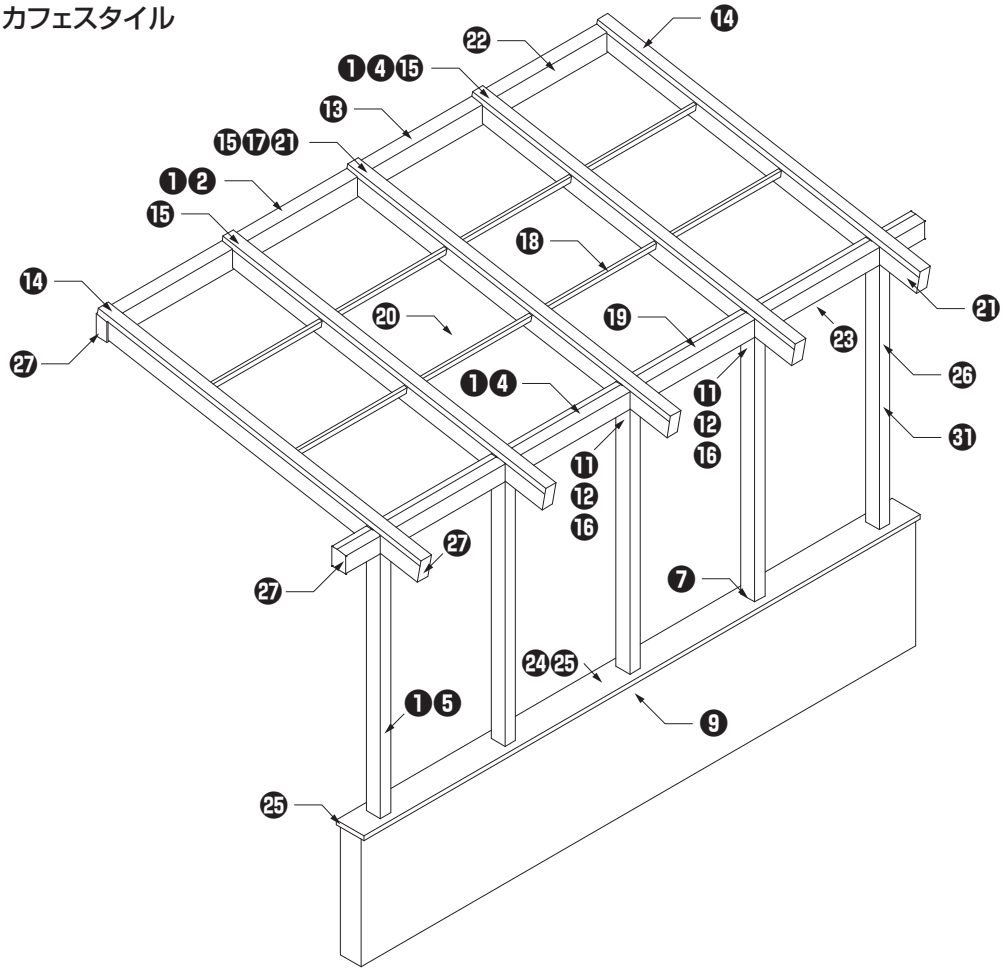
■ポーチテラス カフェスタイル
独立(壁寄せ)タイプ



❶梱包時の垂木掛、桁、支柱の部品の取り外し
❷垂木掛への部品の取り付け
❸桁への部品の取り付け
❹垂木、屋根押えカバーへの部品の取り付け
❺支柱への部品の取り付け
❻支柱Bの設置
(カフェスタイル 独立(壁寄せ) 、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ) の場合)
❼支柱の設置(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)
❽支柱、桁の仮組み(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)
⑫支柱、腰壁用柱の移動
⑭端部用垂木の取り付け
⑮中間用垂木の取り付け
⑯支柱、腰壁用柱、桁の固定
⑰各寸法、水平、垂直の確認
⑱母屋の取り付け
⑲屋根受け、桁背面化粧パネルの取り付け
⑳屋根材の取り付け
㉑屋根押え、端部垂木、屋根押えカバーの取り付け
㉒垂木掛カバーの取り付け、屋根周りのコーキング
㉓桁下面化粧パネルの取り付け
㉖縦樋の取り付け
㉗キャップ類の取り付け
㉘支柱の埋設(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)
㉙支柱Bの埋設
(カフェスタイル 独立(壁寄せ) 、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ) の場合)
㉚支柱カバーの取り付け(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)

施工手順(カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付)

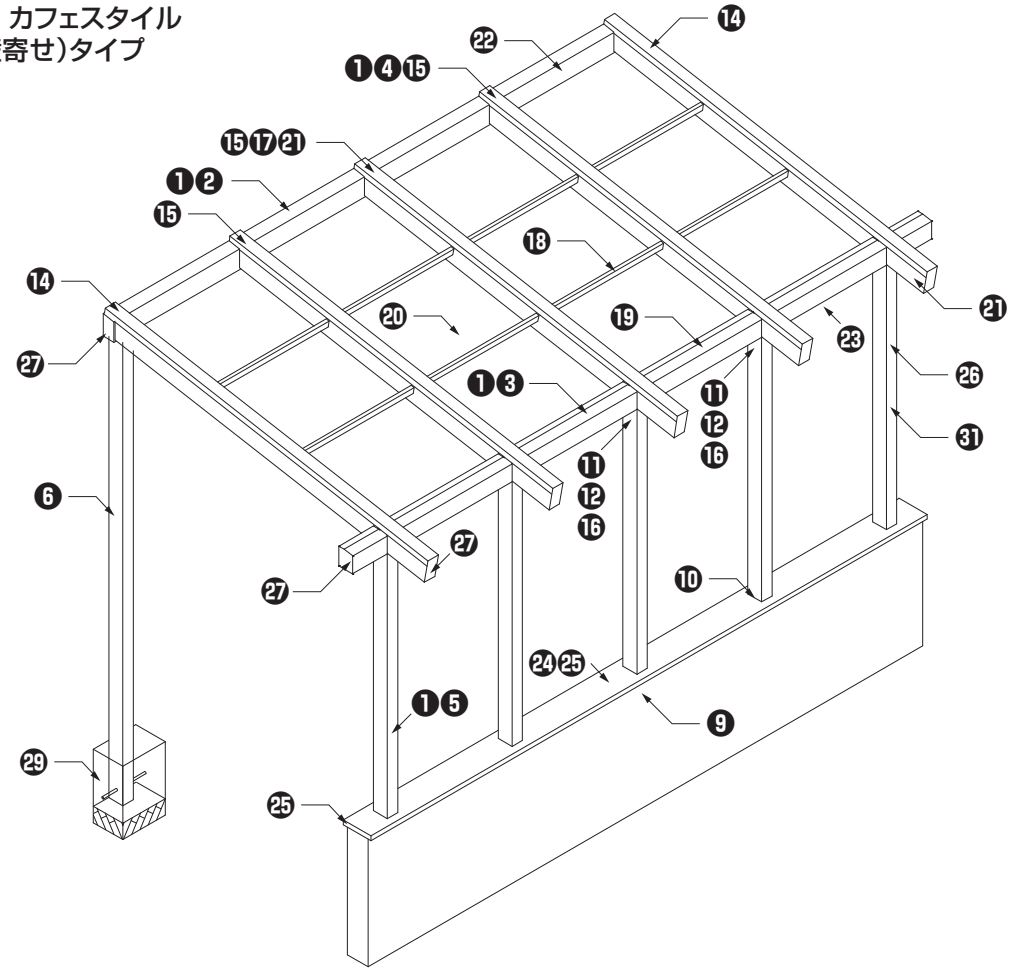
■ポーチテラス カフェスタイル
腰壁タイプ



❶梱包時の垂木掛、桁、支柱の部品の取り外し
❷垂木掛への部品の取り付け
❸桁への部品の取り付け
❹垂木、屋根押えカバーへの部品の取り付け
❺支柱への部品の取り付け
❾笠木ベースTとコンクリートブロックの固定
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) の場合）
❿笠木ベースT、腰壁用柱の仮組み
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) の場合）
⓫腰壁用柱、桁の仮組み
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) の場合）
⓬支柱、腰壁用柱の移動
⓭垂木掛の取り付け
（カフェスタイル 壁付、カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 の場合）
⓮端部用垂木の取り付け
⓯中間用垂木の取り付け
⓰支柱、腰壁用柱、桁の固定
⓱各寸法、水平、垂直の確認
⓲母屋の取り付け
⓳屋根受け、桁背面化粧パネルの取り付け
⓴屋根材の取り付け
㉑屋根押え、端部垂木、屋根押えカバーの取り付け
㉒垂木掛カバーの取り付け、屋根周りのコーキング
㉓桁下面化粧パネルの取り付け
㉔笠木Aの取り付け
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) の場合）
㉕笠木B、笠木キャップの取り付け
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) の場合）
㉖縦樋の取り付け
㉗キャップ類の取り付け
㉛支柱カバーの取り付け
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ) の場合）

施工手順(カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ))

■ポーチテラス カフェスタイル
腰壁 独立(壁寄せ)タイプ



❶梱包時の垂木掛、桁、支柱の部品の取り外し
❷垂木掛への部品の取り付け
❸桁への部品の取り付け
❹垂木、屋根押えカバーへの部品の取り付け
❺支柱への部品の取り付け
❻支柱Bの設置
（カフェスタイル 独立(壁寄せ)、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ)の場合）
❾笠木ベースTとコンクリートブロックの固定
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）
❿笠木ベースT、腰壁用柱の仮組み
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）
⓫腰壁用柱、桁の仮組み
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）
⓬支柱、腰壁用柱の移動
⓮端部用垂木の取り付け
⓯中間用垂木の取り付け
⓰支柱、腰壁用柱、桁の固定
⓱各寸法、水平、垂直の確認
⓲母屋の取り付け
⓳屋根受け、桁背面化粧パネルの取り付け
⓴屋根材の取り付け
㉑屋根押え、端部垂木、屋根押えカバーの取り付け
㉒垂木掛カバーの取り付け、屋根周りのコーキング
㉓桁下面化粧パネルの取り付け
㉔笠木Aの取り付け
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）
㉕笠木B、笠木キャップの取り付け
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）
㉖縦樋の取り付け
㉗キャップ類の取り付け
㉙支柱Bの埋設
（カフェスタイル 独立(壁寄せ)、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ)の場合）
㉛支柱カバーの取り付け
（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）

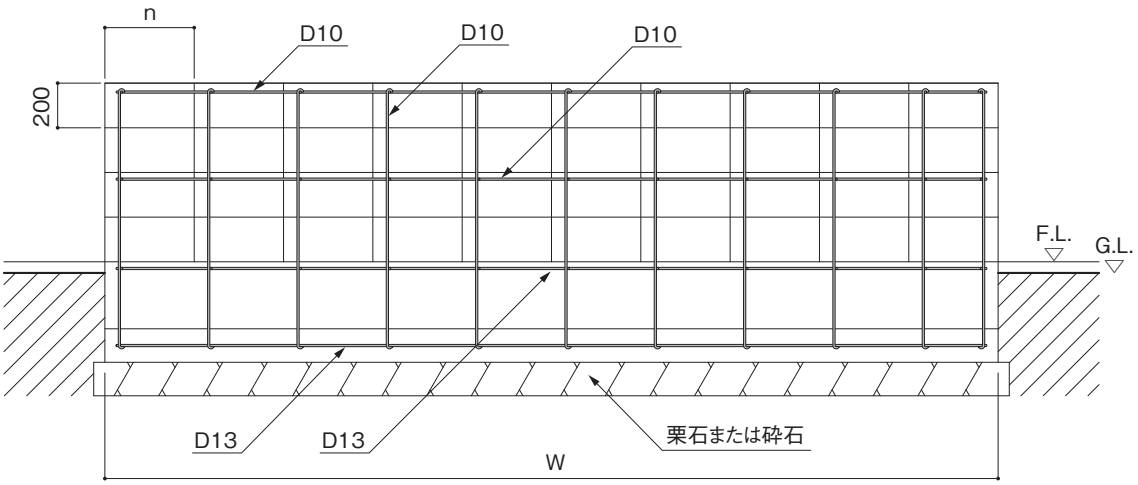
ブロック塀の立て込み(カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ))

間口	1間	1.5間	2間
n(列)	6※	8※	10
W(mm)	2,200	3,100	4,000

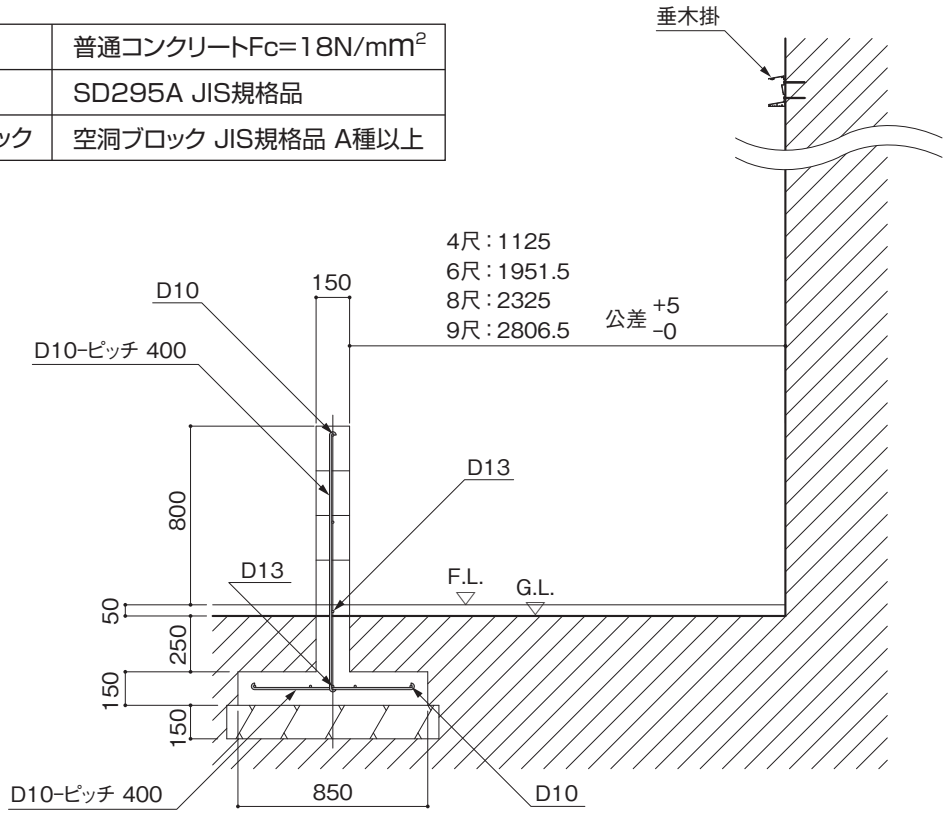
※コンクリートブロックのうち、中間1列をカットしてください。
1間の場合は200mm、1.5間の場合は300mm

⚠ ご注意

○ポーチ本体の所定寸法は、
F.L.+0mm(=G.L.+50mm)が基本です。
○寒冷地で凍上する恐れのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
○コンクリートブロックの表面は適切な防水処理を行ってください。



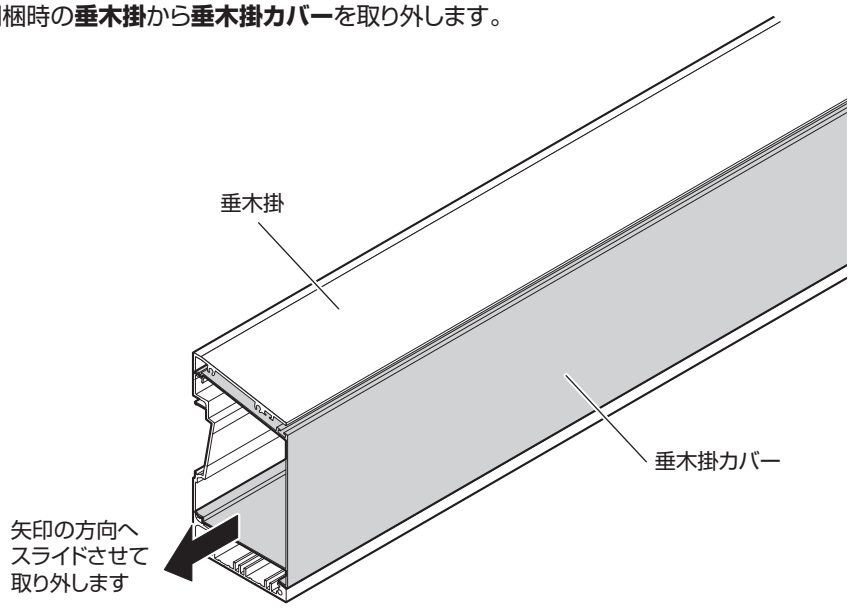
コンクリート	普通コンクリートFc=18N/mm^2
鉄筋	SD295A JIS規格品
コンクリートブロック	空洞ブロック JIS規格品 A種以上



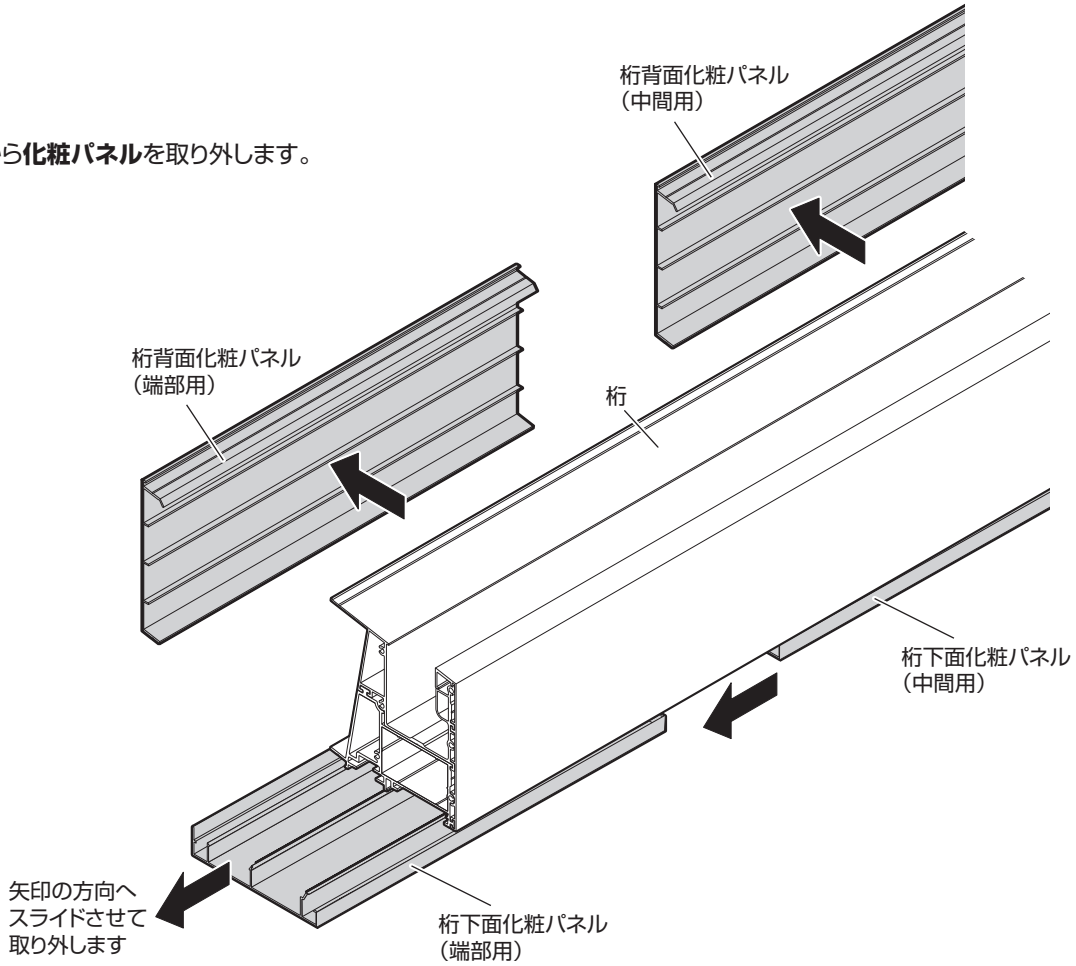
組立・施工

❶ 梱包時の垂木掛、桁、支柱の部品の取り外し

①開梱時の**垂木掛**から**垂木掛カバー**を取り外します。



②**桁**から**化粧パネル**を取り外します。

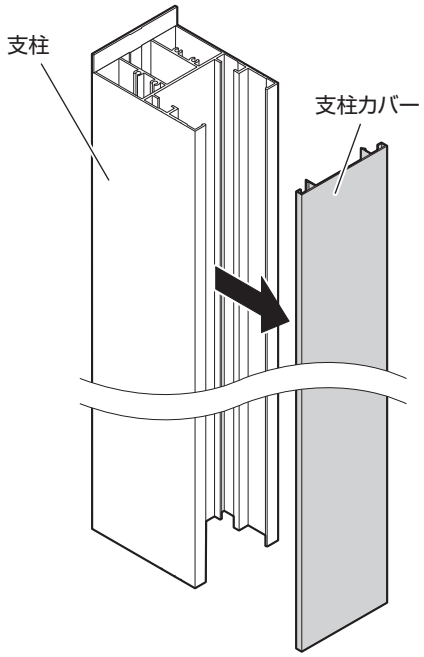


組立・施工

③**支柱**、**腰壁用柱**から**支柱カバー**を取り外します。

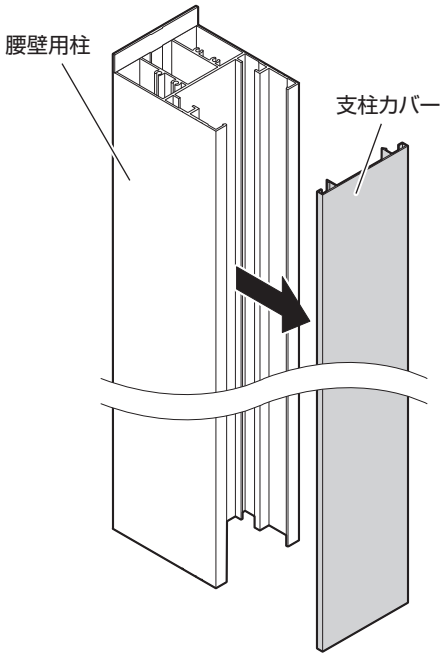
カフェスタイル

壁付 独立(壁寄せ) の場合



カフェスタイル 腰壁タイプ

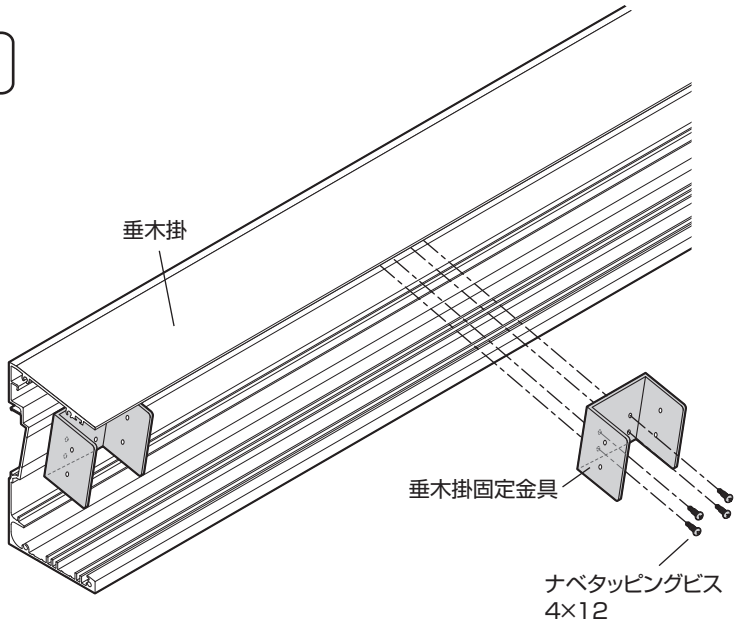
壁付 独立(壁寄せ) の場合



組立・施工

❷ 垂木掛への部品の取り付け

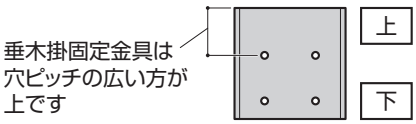
垂木掛に**金具**を取り付けます。



カフェスタイル
カフェスタイル 腰壁タイプ
壁付 の場合

垂木掛に**垂木掛固定金具**を取り付けます。

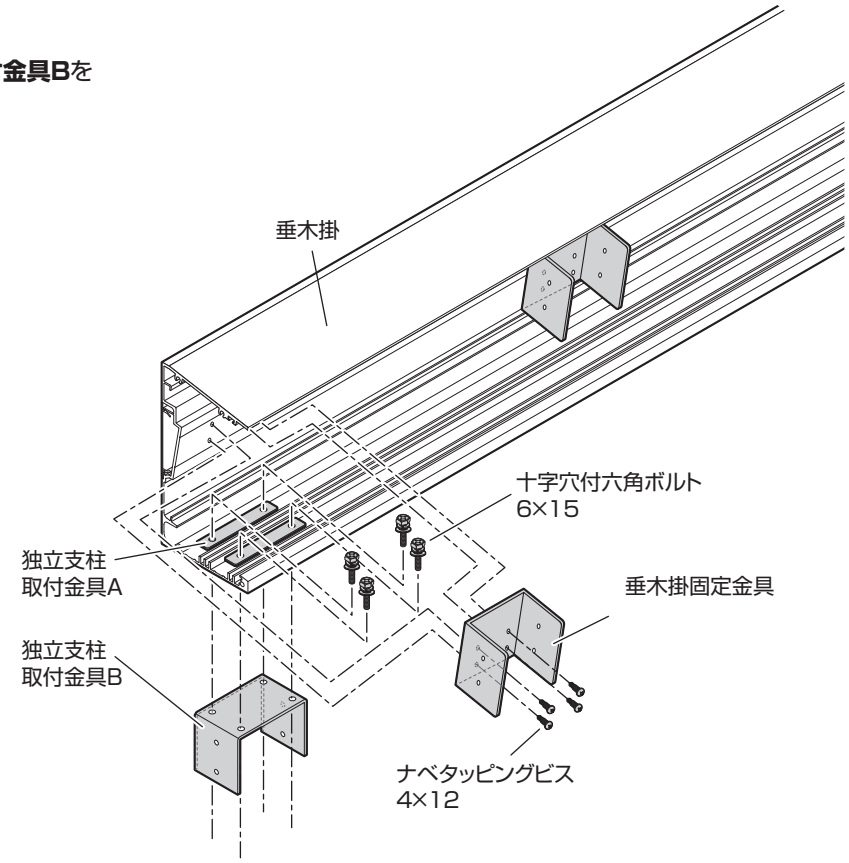
- ●ビス：ナベタッピングビス4×12(金具個数×4本)
- ●金具：垂木掛固定金具(垂木本数の個数)



カフェスタイル
カフェスタイル 腰壁タイプ
独立(壁寄せ) の場合

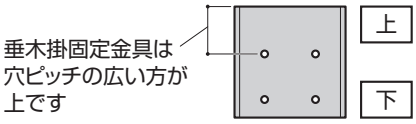
①**垂木掛**に**独立支柱取付金具A**、**独立支柱取付金具B**を取り付けます。

- ●ビス：十字穴付六角ボルト6×15(4本)
- ●金具：独立支柱取付金具A(2個)
  独立支柱取付金具B(1個)



②**垂木掛**に**垂木掛固定金具**を固定します。

- ●ビス：ナベタッピングビス4×12(4本)
- ●金具：垂木掛固定金具(1個)

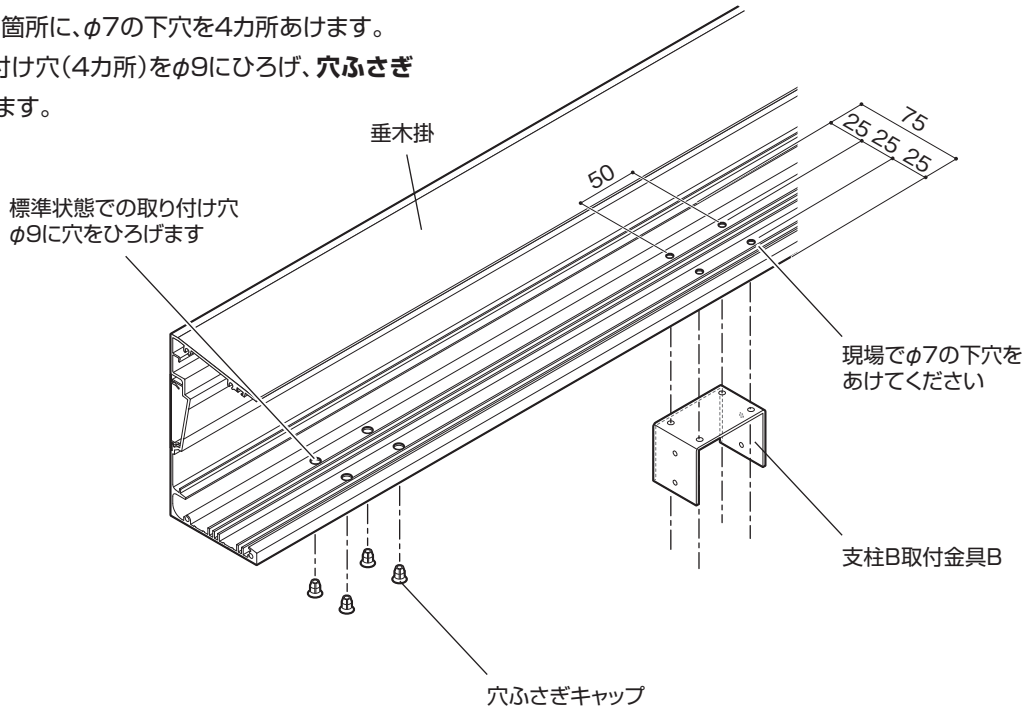


組立・施工

■支柱Bを移動させた場合

カフェスタイル
カフェスタイル 腰壁タイプ
独立(壁寄せ) のみ

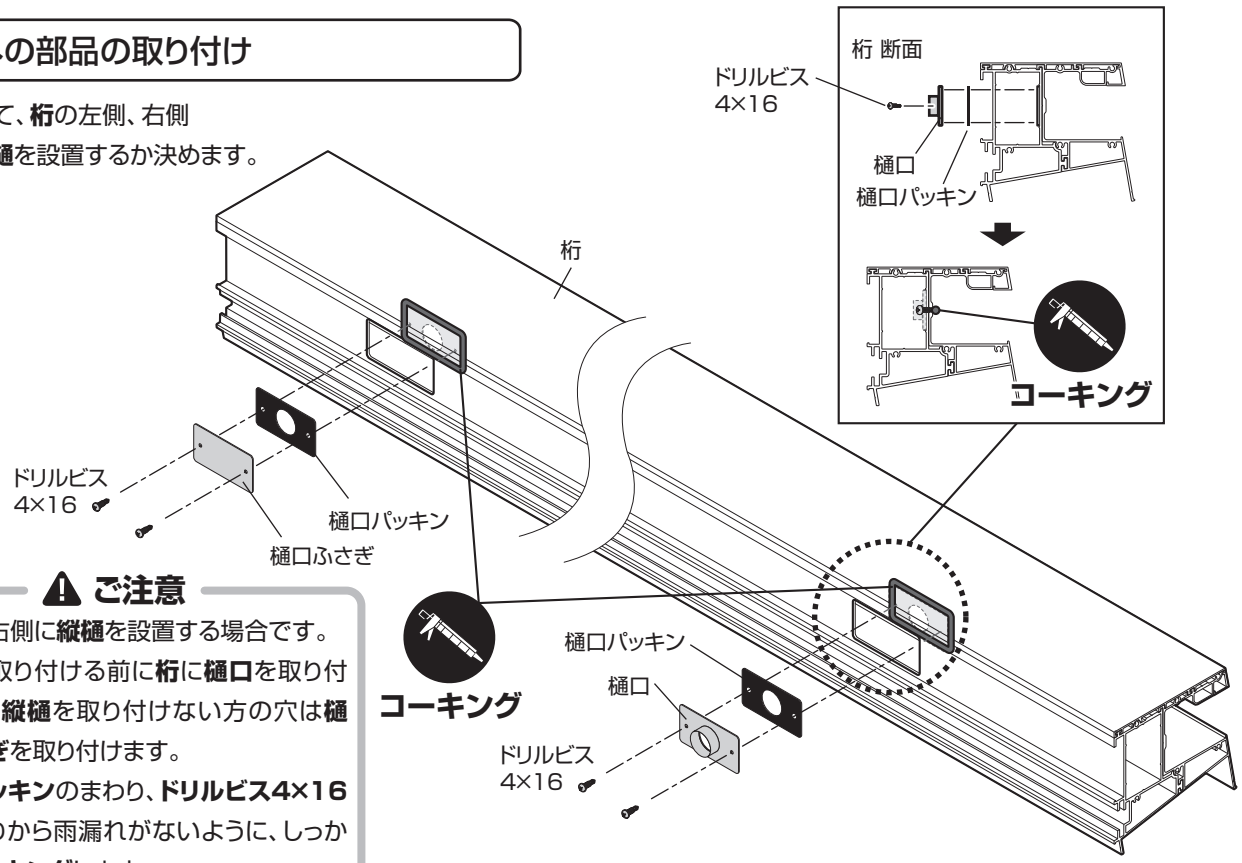
①**支柱B**を移動させる箇所に、φ7の下穴を4カ所あけます。
②標準状態での取り付け穴(4カ所)をφ9にひろげ、**穴ふさぎキャップ**を取り付けます。



組立・施工

❸ 桁への部品の取り付け

現場に応じて、**桁**の左側、右側
どちらに**縦樋**を設置するか決めます。



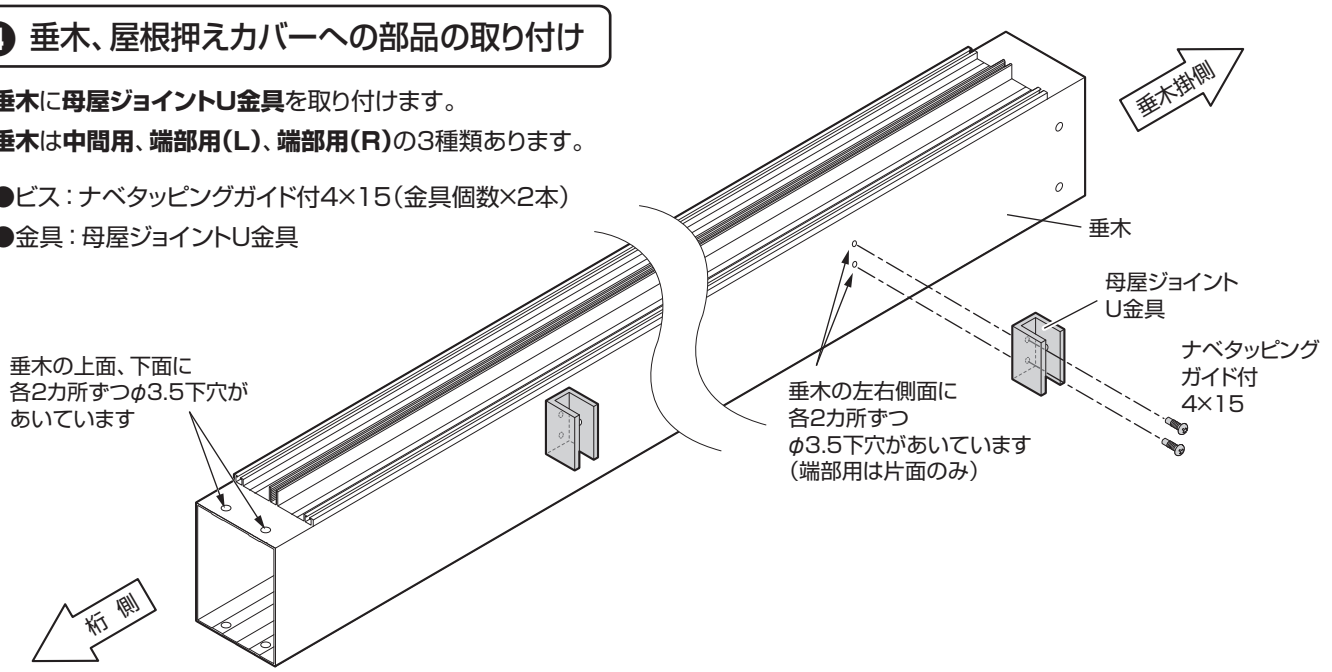
⚠ ご注意

○右図は右側に**縦樋**を設置する場合です。
○**支柱**に取り付ける前に**桁**に**樋口**を取り付けます。**縦樋**を取り付けない方の穴は**樋口ふさぎ**を取り付けます。
○**樋口パッキン**のまわり、**ドリルビス4×16**のまわりから雨漏れがないように、しっかりと**コーキング**します。

❹ 垂木、屋根押えカバーへの部品の取り付け

①**垂木**に**母屋ジョイントU金具**を取り付けます。
垂木は**中間用**、**端部用(L)**、**端部用(R)**の3種類あります。

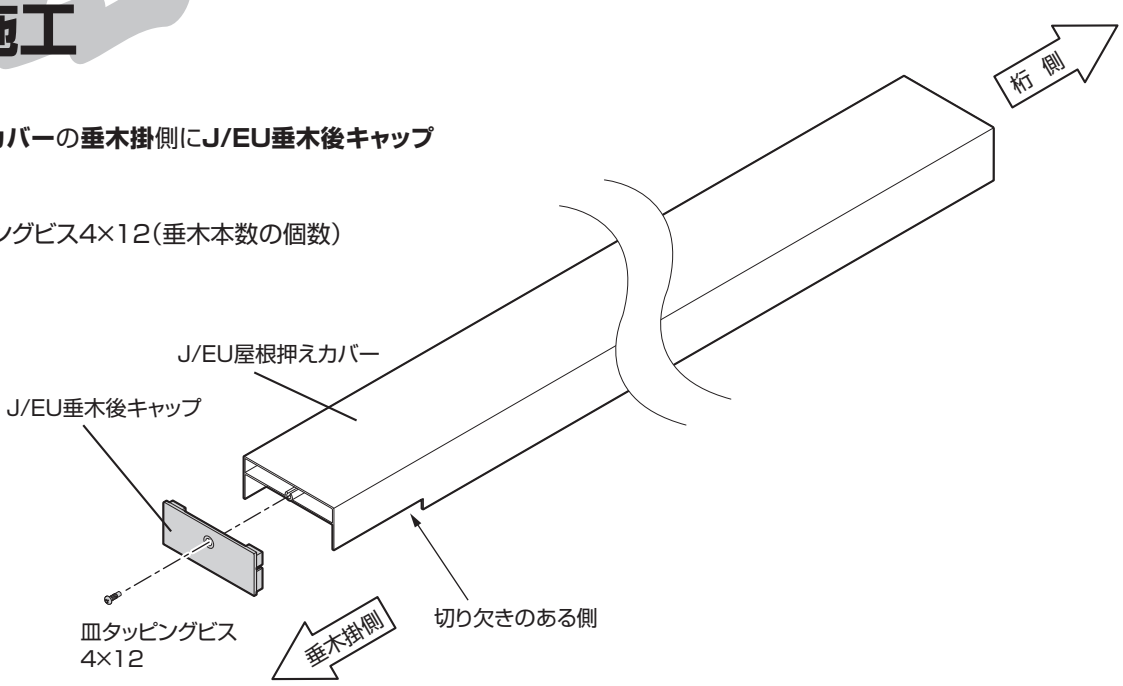
●ビス：ナベタッピングガイド付4×15(金具個数×2本)
●金具：母屋ジョイントU金具



組立・施工

②**J/EU屋根押えカバー**の**垂木掛**側に**J/EU垂木後キャップ**
を取り付けます。

●ビス：皿タッピングビス4×12(垂木本数の個数)

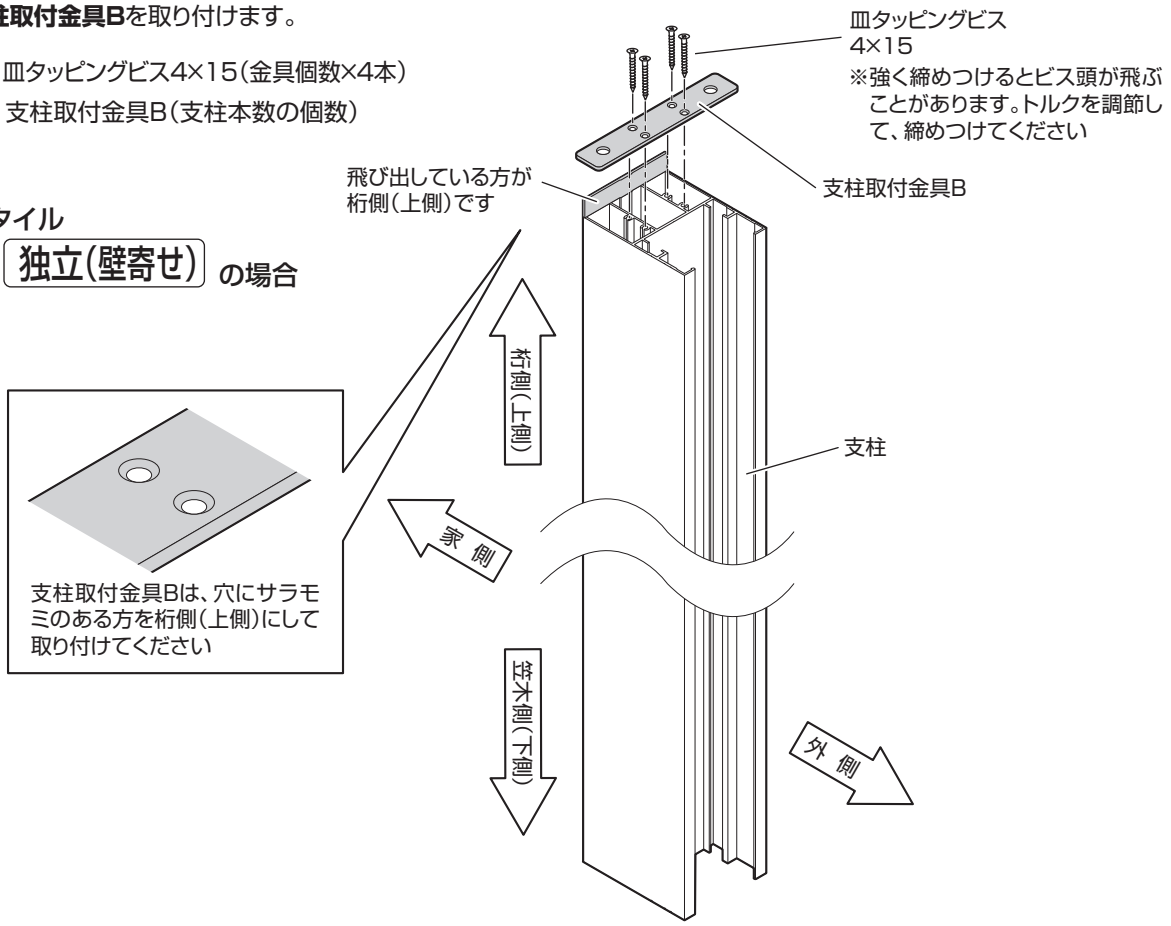


❺ 支柱への部品の取り付け

支柱に**支柱取付金具B**を取り付けます。

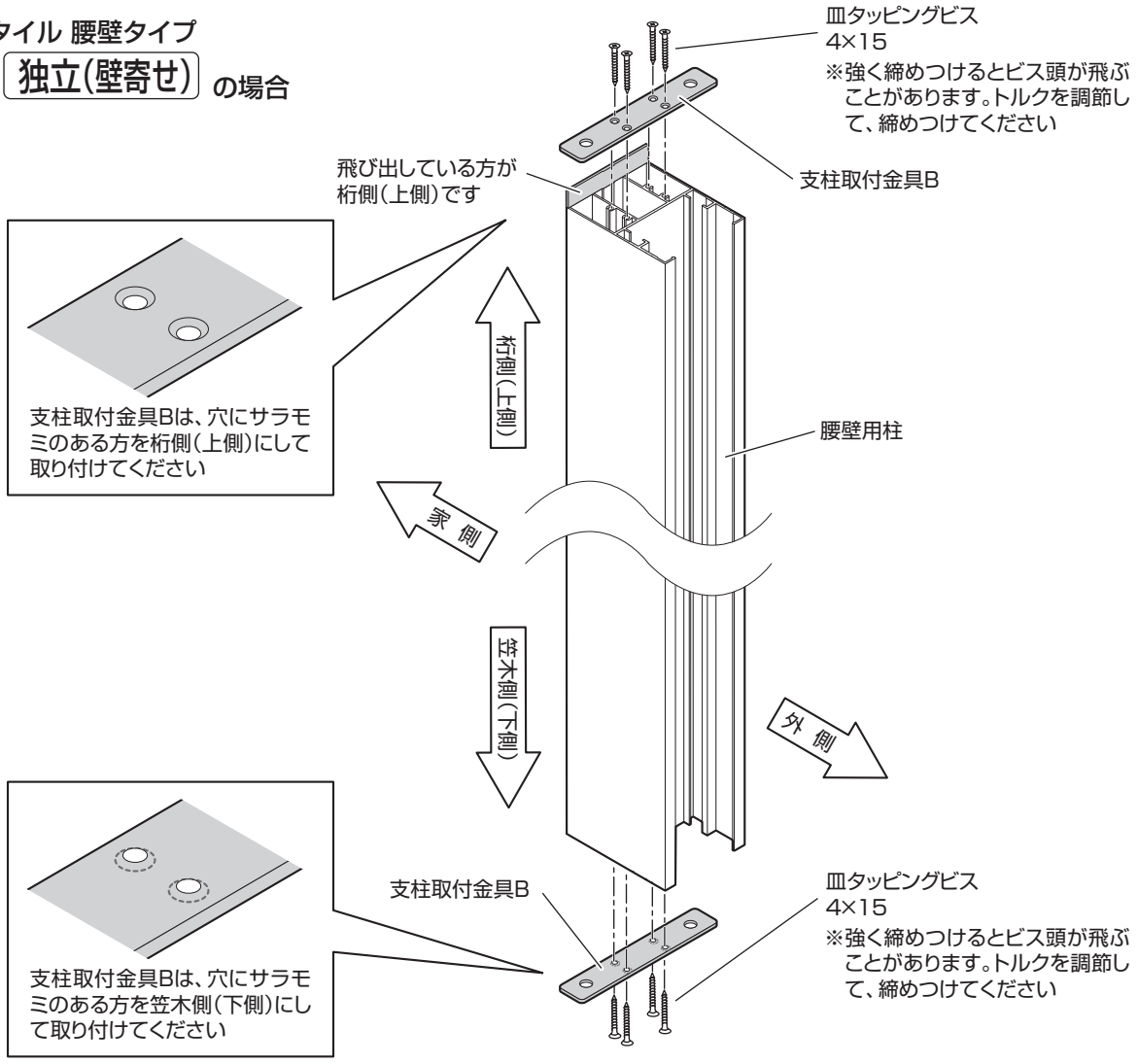
●ビス：皿タッピングビス4×15(金具個数×4本)
●金具：支柱取付金具B(支柱本数の個数)

カフェスタイル
壁付 独立(壁寄せ) の場合



組立・施工

カフェスタイル 腰壁タイプ
壁付 独立(壁寄せ) の場合



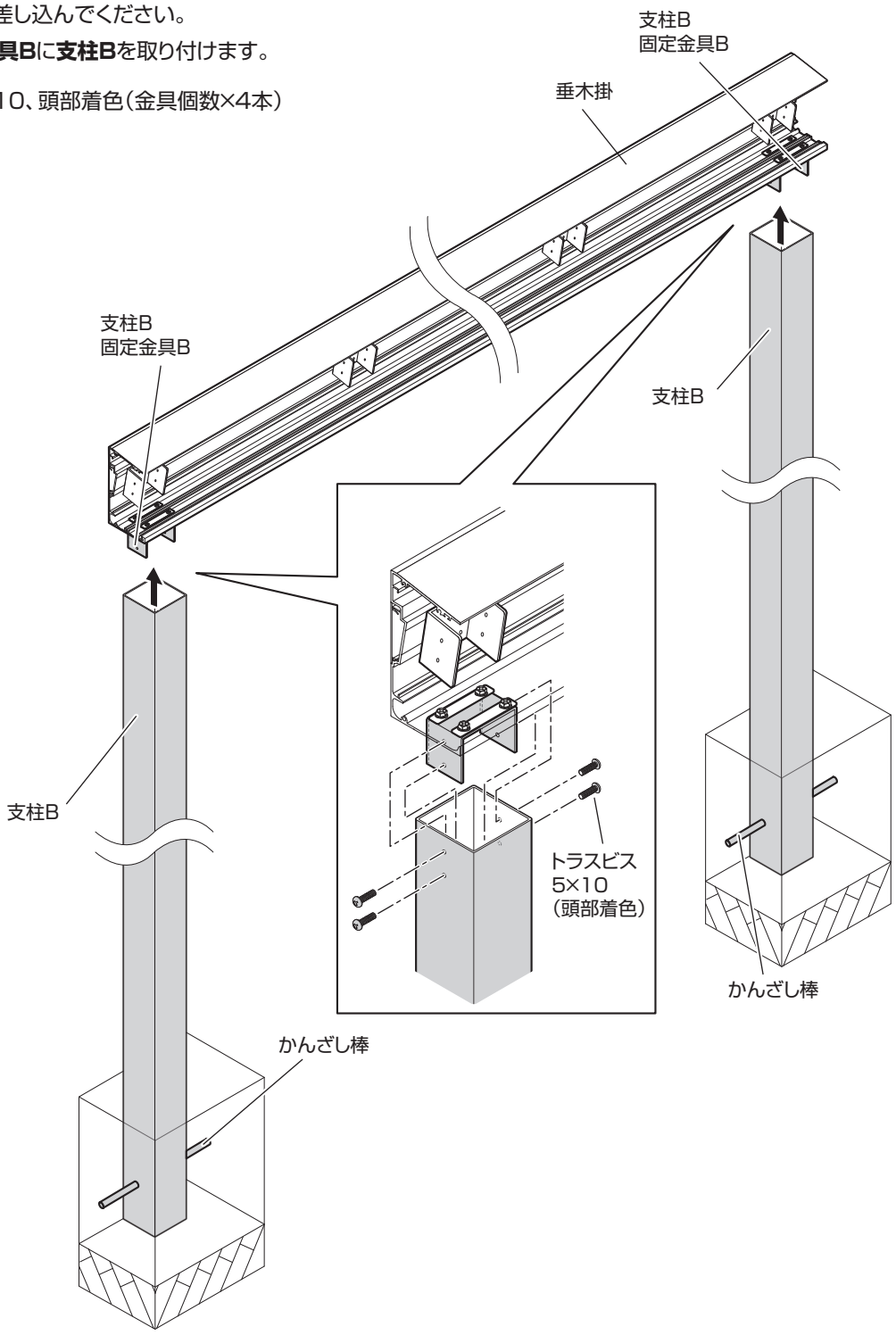
組立・施工

❻ 支柱Bの設置
（カフェスタイル 独立(壁寄せ) 、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ) の場合）

①**支柱B**に**かんざし棒**を差し込んでください。

②**垂木掛**の**支柱B固定金具B**に**支柱B**を取り付けます。

●ビス：トラスビス5×10、頭部着色（金具個数×4本）



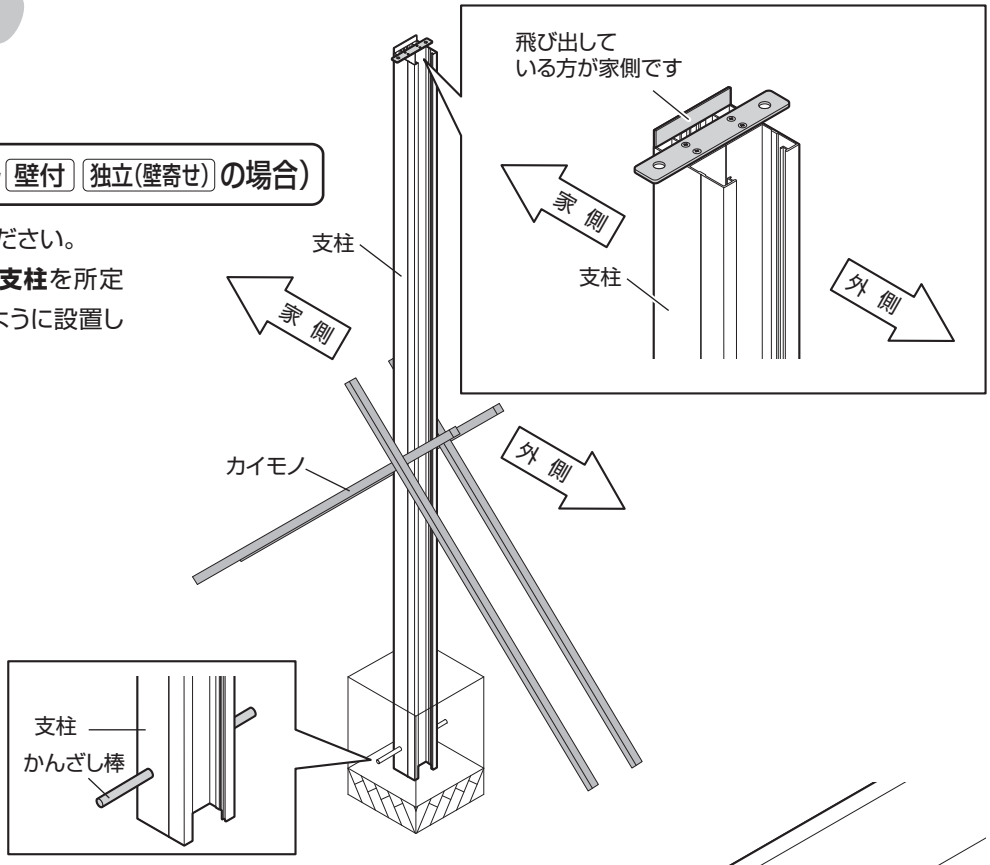
組立・施工

❼ 支柱の設置(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)

①**支柱**に**かんざし棒**を差し込んでください。
②規格寸法表(P.6~7)を参考に、**支柱**を所定の位置にカイモノ等で倒れないように設置してください。

⚠ ご注意

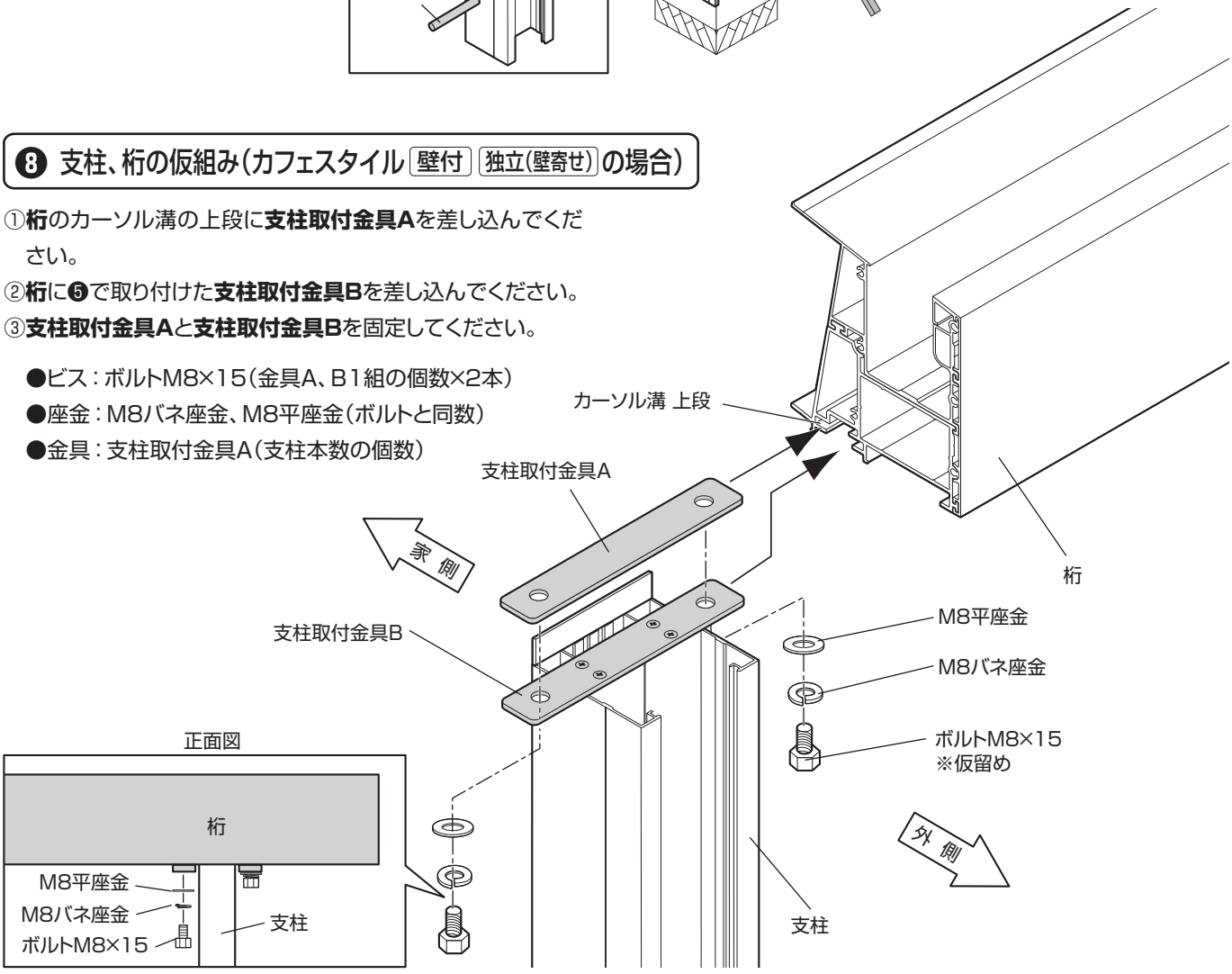
支柱の本数は、ポーチシリーズの種類および、間口サイズによって異なります。



❽ 支柱、桁の仮組み(カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合)

①**桁**のカーソル溝の上段に**支柱取付金具A**を差し込んでください。
②**桁**に❺で取り付けた**支柱取付金具B**を差し込んでください。
③**支柱取付金具A**と**支柱取付金具B**を固定してください。

●ビス:ボルトM8×15(金具A、B1組の個数×2本)
●座金:M8バネ座金、M8平座金(ボルトと同数)
●金具:支柱取付金具A(支柱本数の個数)



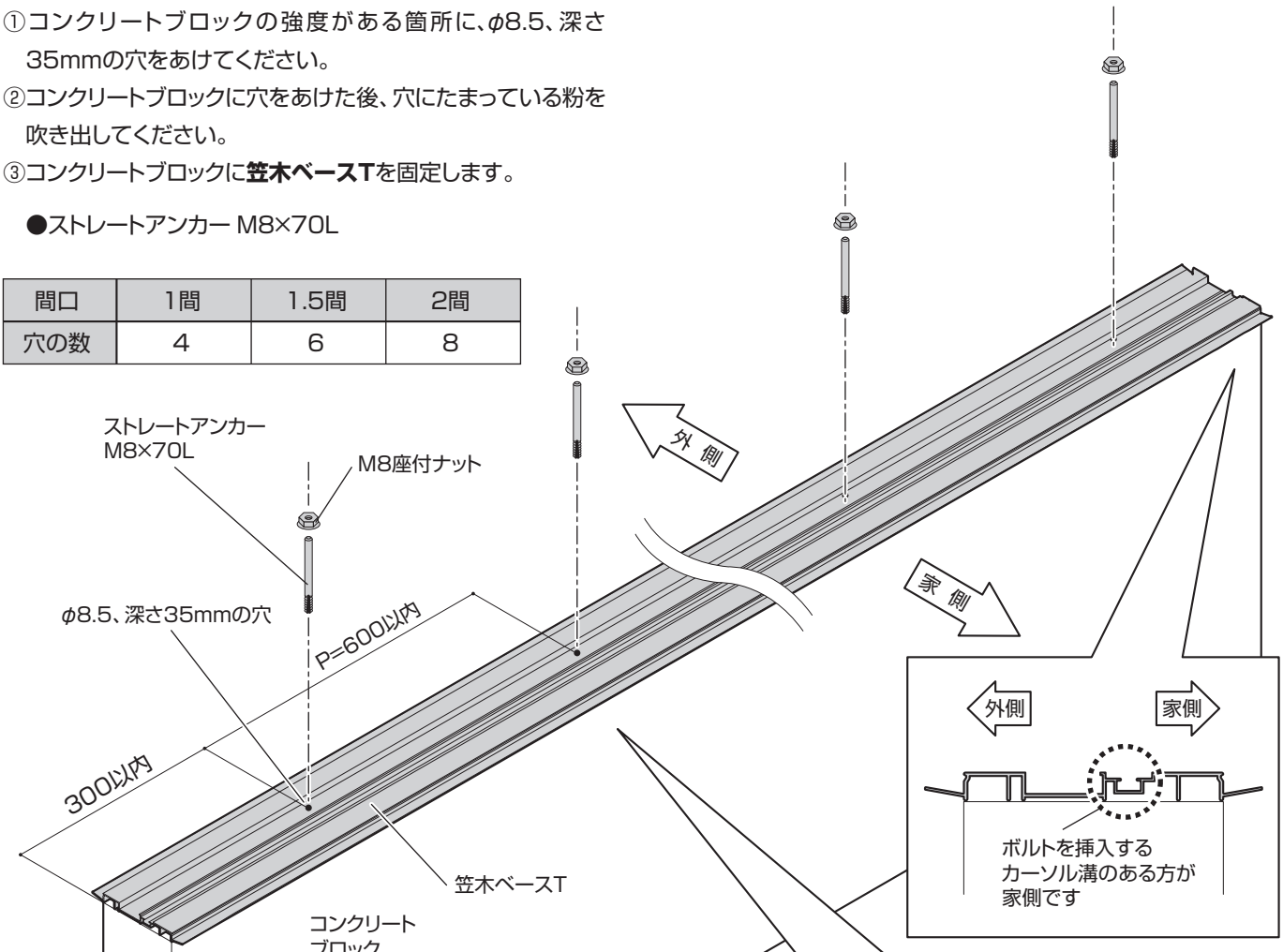
組立・施工

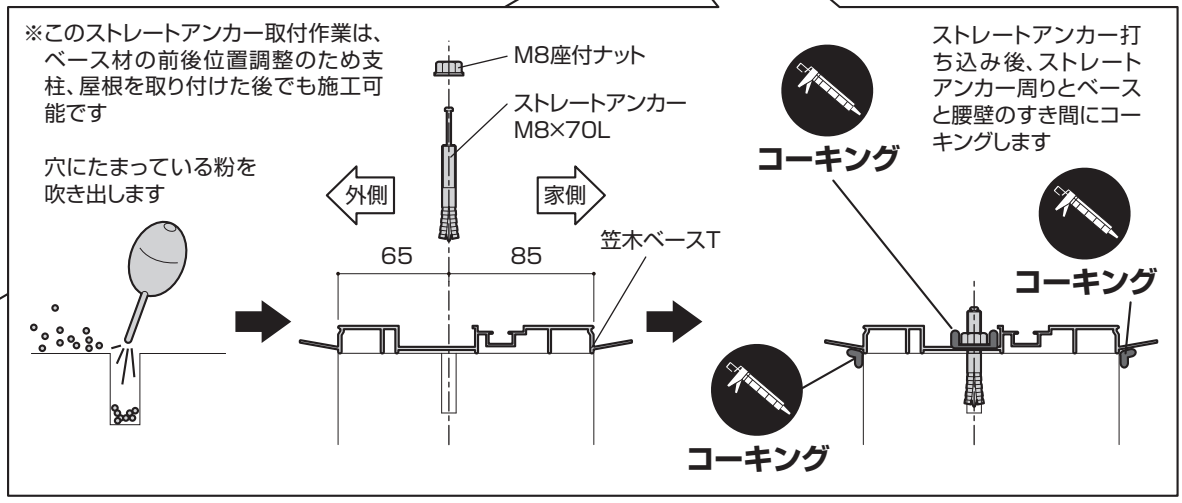
❾ 笠木ベースTとコンクリートブロックの固定（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）

①コンクリートブロックの強度がある箇所に、φ8.5、深さ35mmの穴をあけてください。
②コンクリートブロックに穴をあけた後、穴にたまっている粉を吹き出してください。
③コンクリートブロックに**笠木ベースT**を固定します。

●ストレートアンカー M8×70L

間口	1間	1.5間	2間
穴の数	4	6	8





組立・施工

⑩ 笠木ベースT、腰壁用柱の仮組み（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）

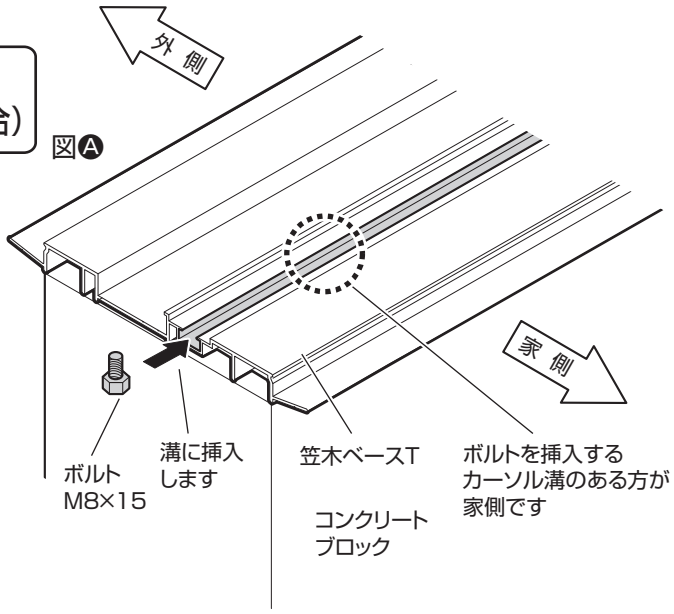
①**笠木ベースT**の溝に**ボルトM8×15**を挿入します。【図Ⓐ】

②**腰壁用柱**を**笠木ベースT**に**M8ハットナット**で仮留めします。【図Ⓑ】

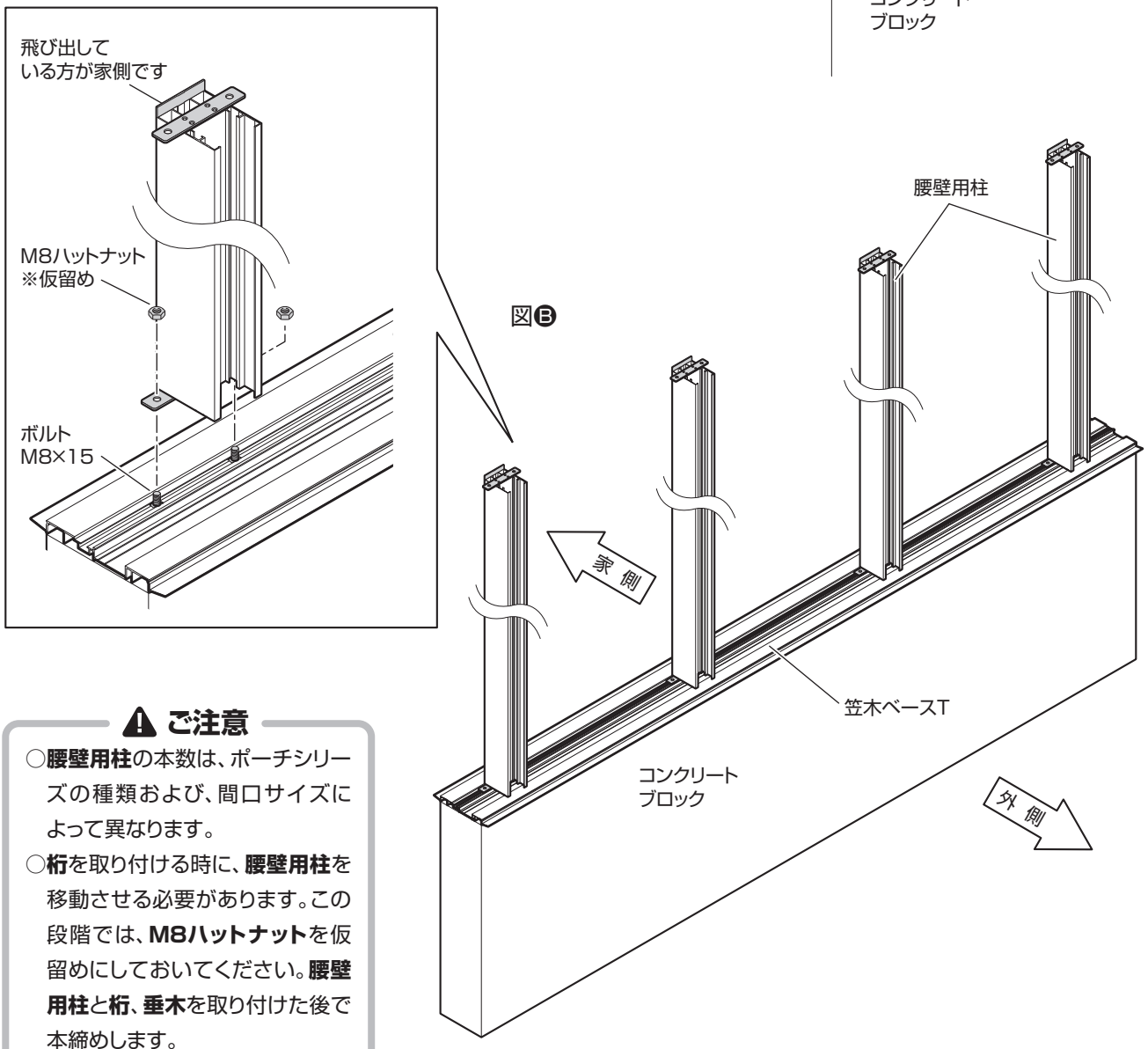
●ボルト：ボルトM8×15（支柱取付金具Bの個数×2本）

●ナット：M8ハットナット（ボルトと同数）

図Ⓐ



図Ⓑ



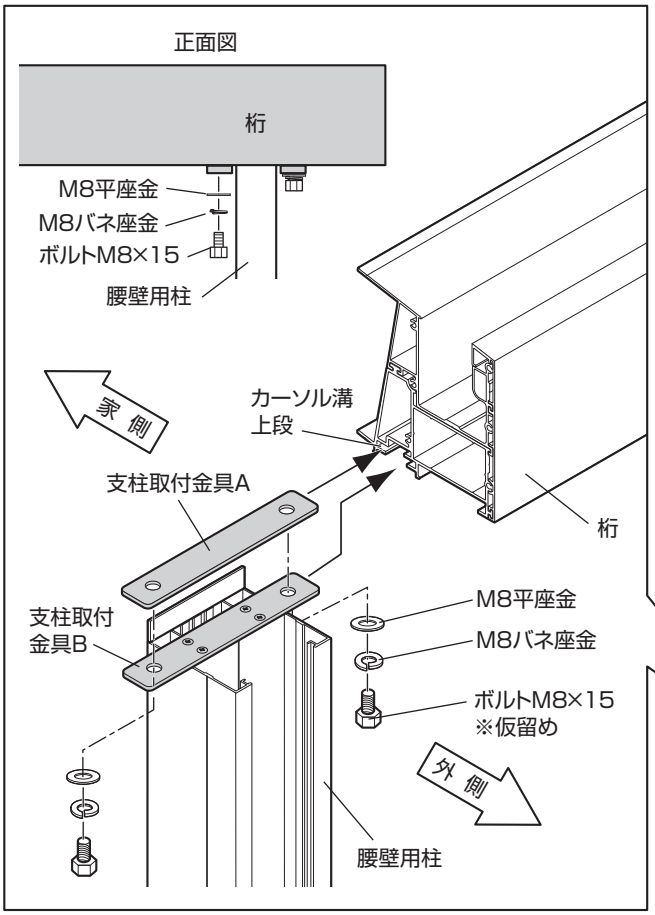
⚠ ご注意

○**腰壁用柱**の本数は、ポーチシリーズの種類および、間口サイズによって異なります。

○**桁**を取り付ける時に、**腰壁用柱**を移動させる必要があります。この段階では、**M8ハットナット**を仮留めにしておいてください。**腰壁用柱**と**桁**、**垂木**を取り付けた後で本締めします。

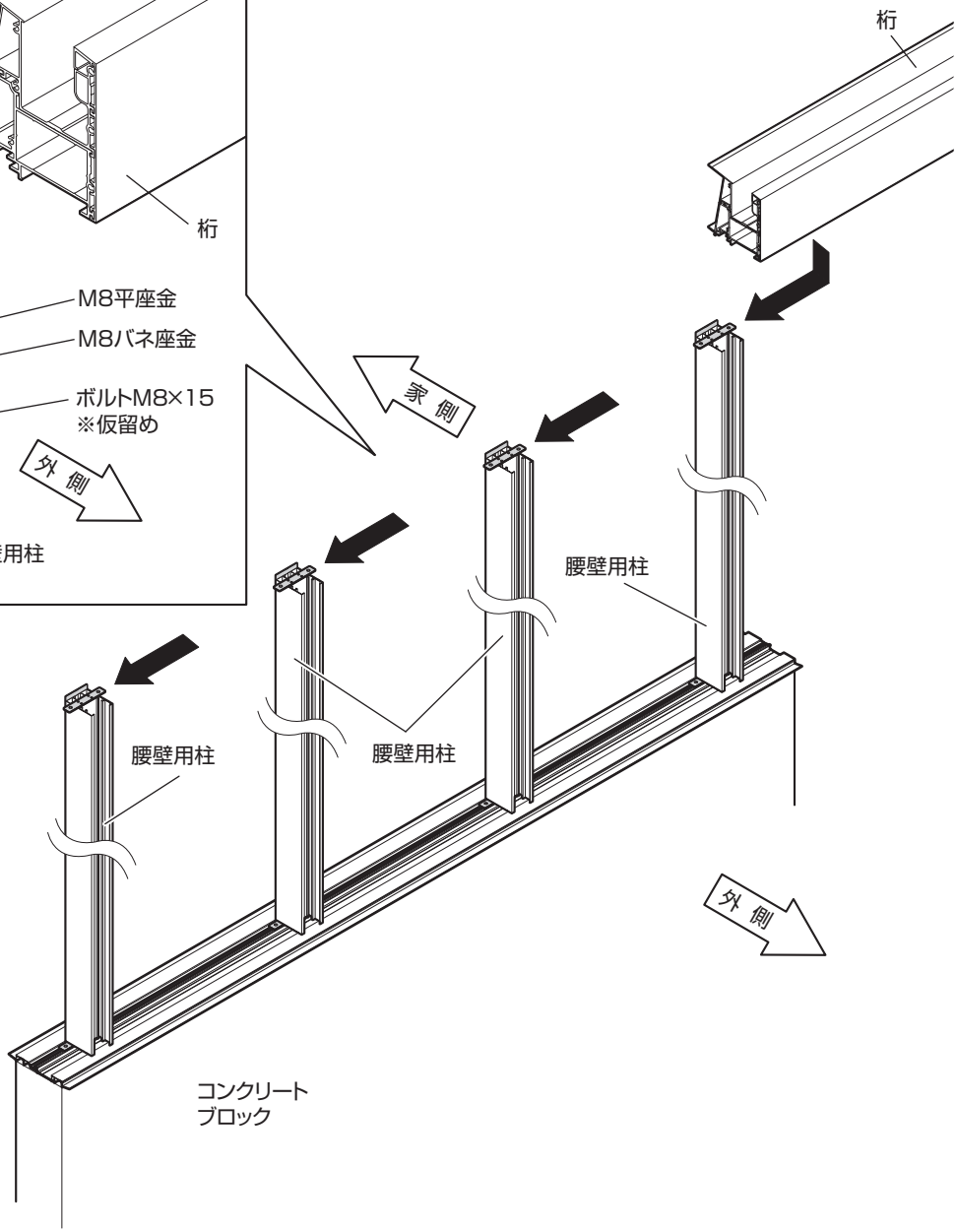
組立・施工

⓫ 腰壁用柱、桁の仮組み（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）



①**桁**のカーソル溝の上段に**支柱取付金具A**を差し込んでください。
②**桁**に❺で取り付けた**支柱取付金具B**を差し込んでください。
③**支柱取付金具A**と**支柱取付金具B**を固定してください。

- ●ボルト：ボルトM8×15（金具A、B1組の個数×2本）
- ●座金：M8バネ座金、M8平座金（ボルトと同数）
- ●金具：支柱取付金具A（支柱本数の個数）



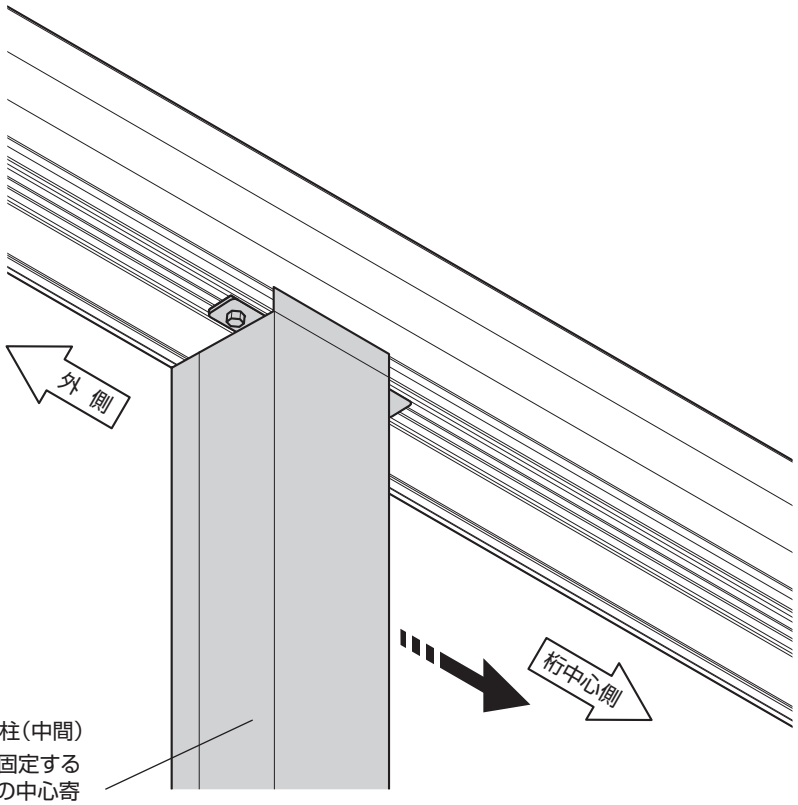
⚠ ご注意

○**腰壁用柱**の本数は、ポーチシリーズの種類および、間口サイズによって異なります。
○**桁**を固定する時に、**腰壁用柱**を移動させる必要があります。この段階では、**ボルトM8×15**を仮留めにしておいてください。**腰壁用柱**と**桁**、**垂木**を取り付けた後で本締めします。

組立・施工

⑫ 支柱、腰壁用柱の移動

支柱(中間)または**腰壁用柱(中間)**の位置を、正規の位置から100mm程度、**桁**の中心寄りにずらしてください。



支柱(中間)または腰壁用柱(中間)
※中間用垂木を下面から固定するため100mm程度、桁の中心寄りにずらしてください

組立・施工

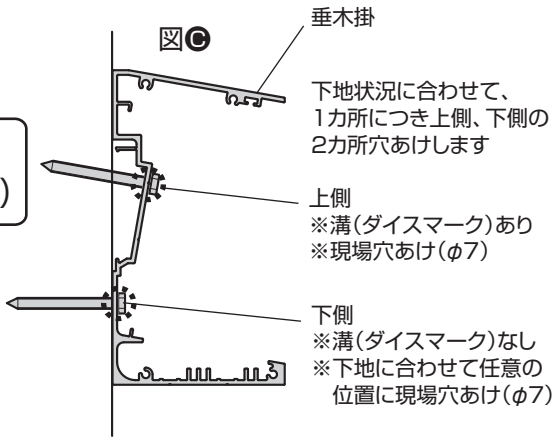
⑬ 垂木掛の取り付け（カフェスタイル 壁付、カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付の場合）

①建物側の下地状況を確認し、**コーチボルトM6×90**を打ち込む穴位置を決定します。

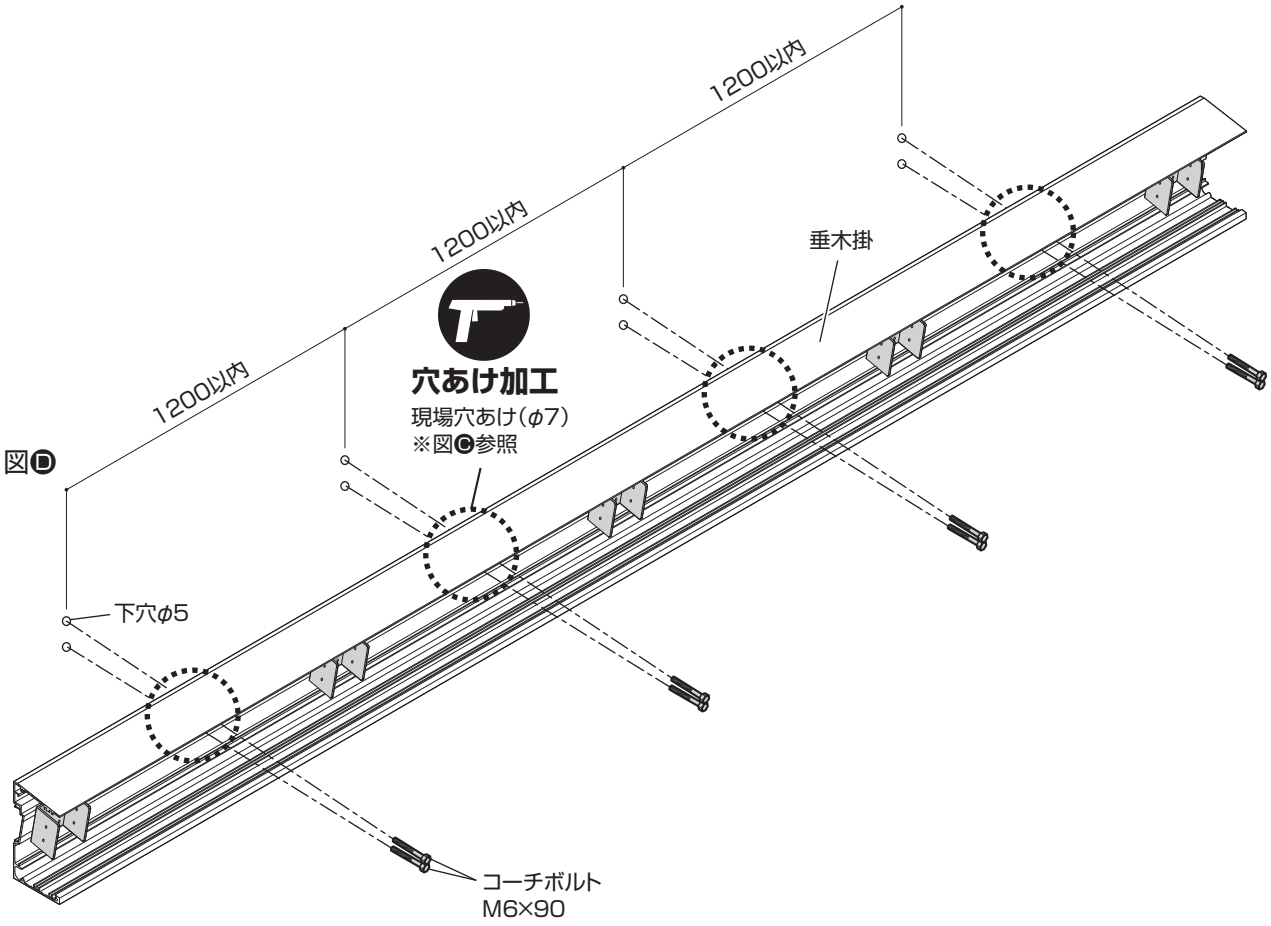
②その穴位置に合わせて**垂木掛**に穴あけ(φ7)を行います。**垂木掛**に溝(ダイスマーク)がありますので、その溝上にあけてください。【図Ⓒ】

③建物の壁側に**垂木掛**を固定してください。【図Ⓓ】

図Ⓒ



図Ⓓ



組立・施工

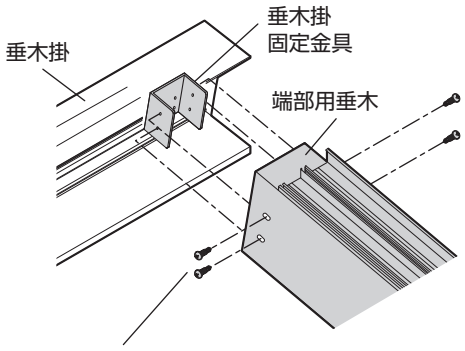
⑭ 端部用垂木の取り付け

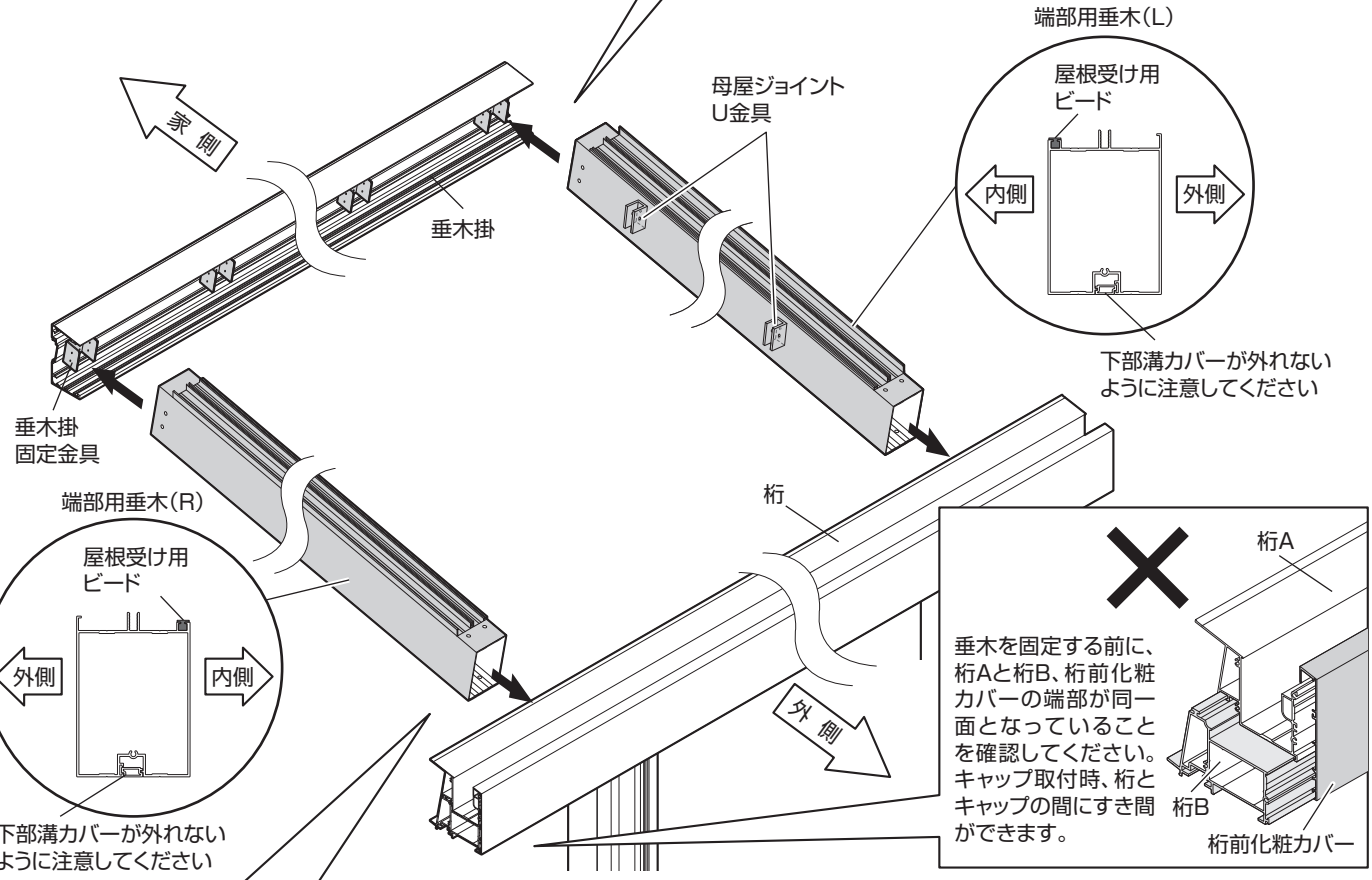
垂木には**中間用**、**端部用(L)**、**端部用(R)**の3種類があります。

①**垂木掛**の**垂木掛固定金具**に**端部用垂木**を取り付けます。【図Ⓔ】
②**桁**に**端部用垂木**を取り付けます。【図Ⓕ】

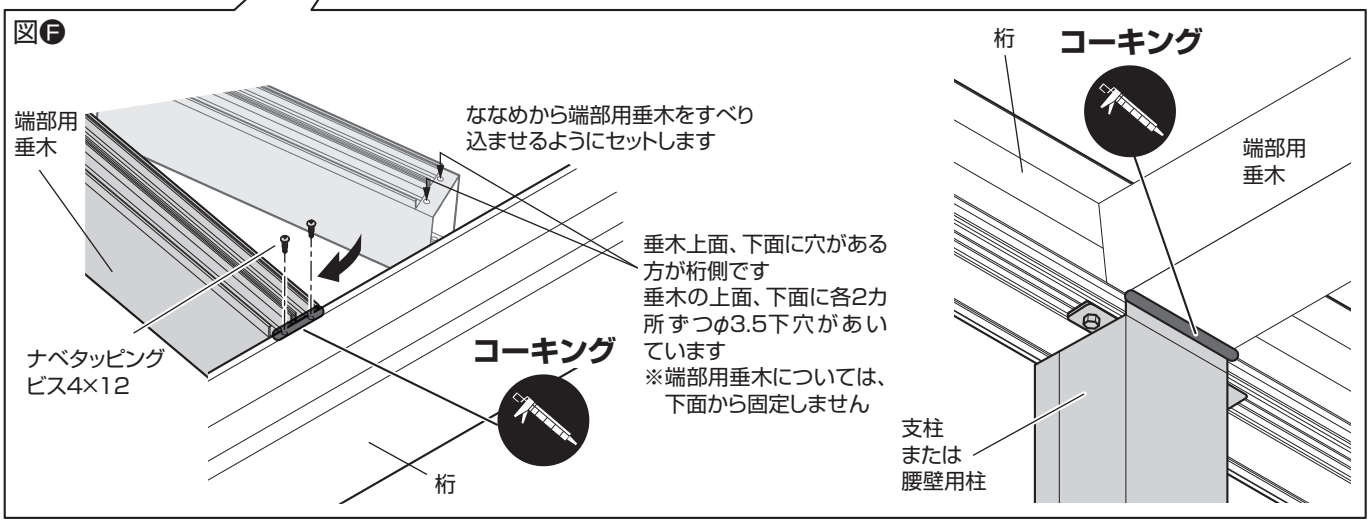
●ビス：ナベタッピングビス4×12(垂木2本×6本)

図Ⓔ





図Ⓕ



組立・施工

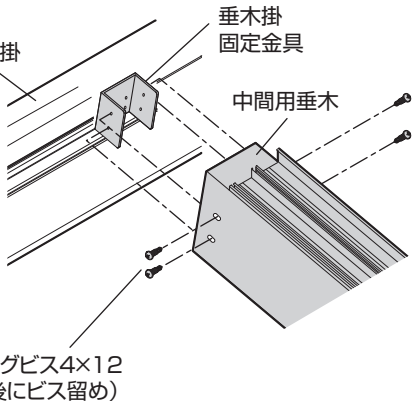
⑮ 中間用垂木の取り付け

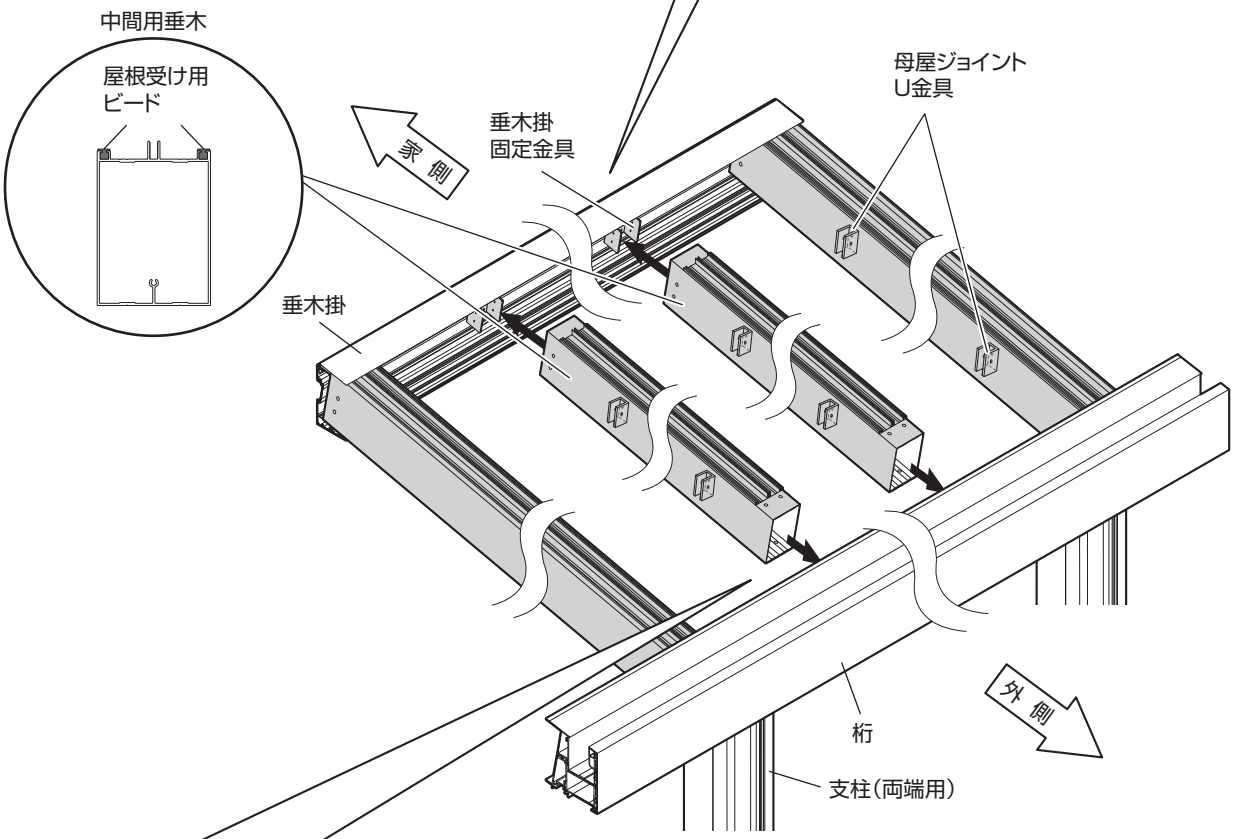
垂木には**中間用**、**端部用(L)**、**端部用(R)**の3種類があります。

①**垂木掛**の**垂木掛固定金具**に**中間用垂木**を取り付けます。【図Ⓖ】
②**桁**に**中間用垂木**を取り付けます。【図Ⓗ】

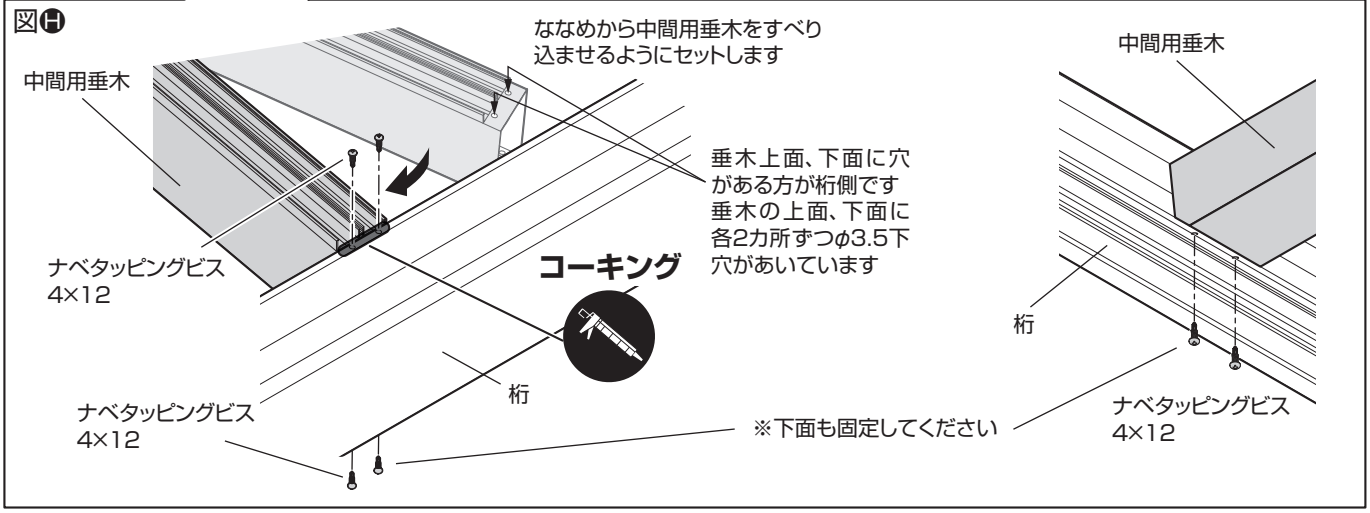
●ビス：ナベタッピングビス4×12(垂木本数×8本)

図Ⓖ





図Ⓗ



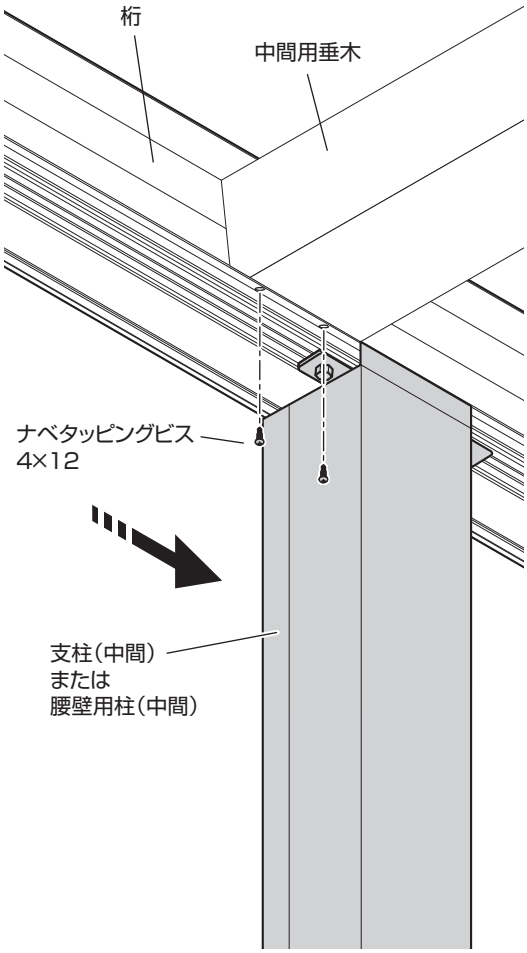
組立・施工

⑯ 支柱、腰壁用柱、桁の固定

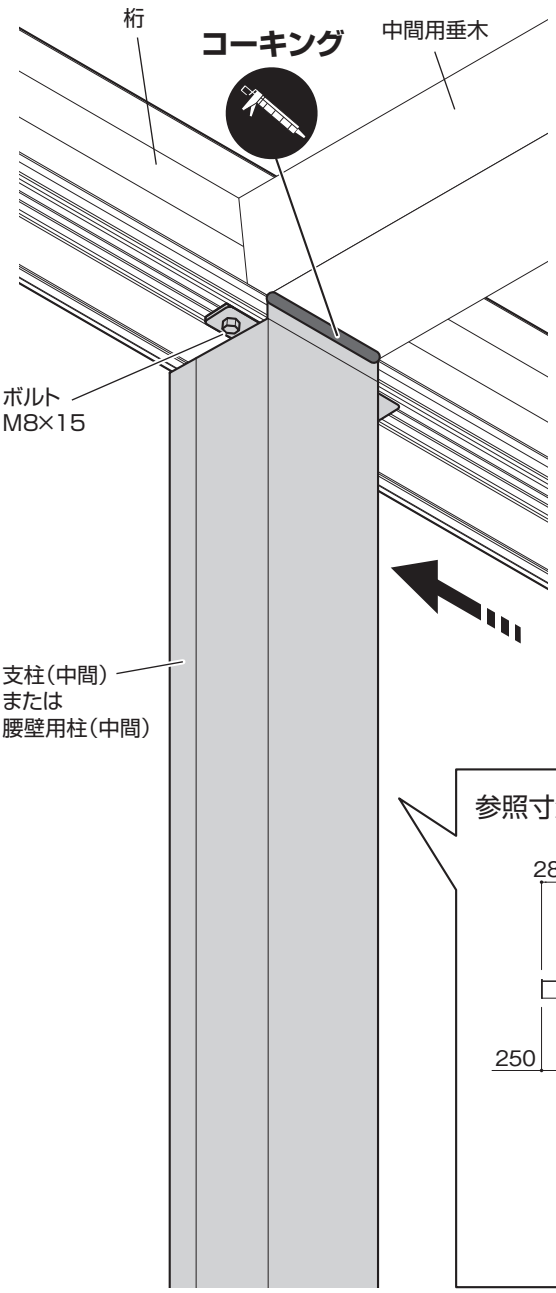
①**支柱(中間)**または**腰壁用柱(中間)**をずらした状態で**中間用垂木**を取り付け、垂木の下側に**ナベタッピングビス4×12**でビス留めします。【図❶】

②ずらした**支柱(中間)**または**腰壁用柱(中間)**を元にもどし、参照寸法の位置に合わせ、**ボルトM8×15**で固定します。【図❷】

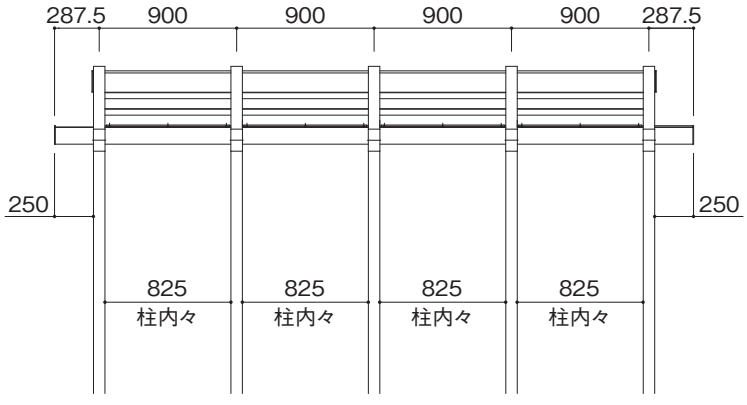
図❶



図❷



参照寸法



組立・施工

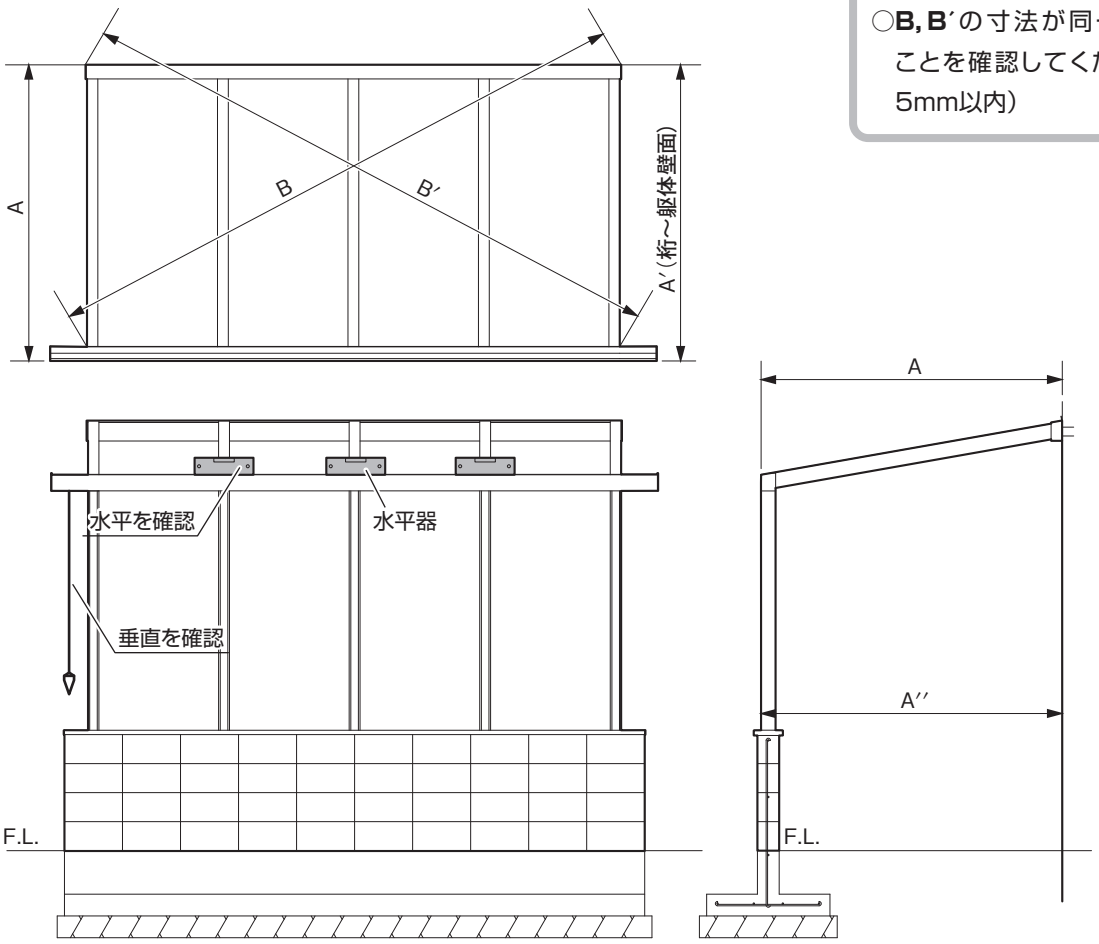
⑰ 各寸法、水平、垂直の確認

①**支柱(腰壁用柱)**、**桁**、**垂木**、**垂木掛**まで組み立てた際、寸法のズレや本体にゆがみがないか確認してください。

ポイント

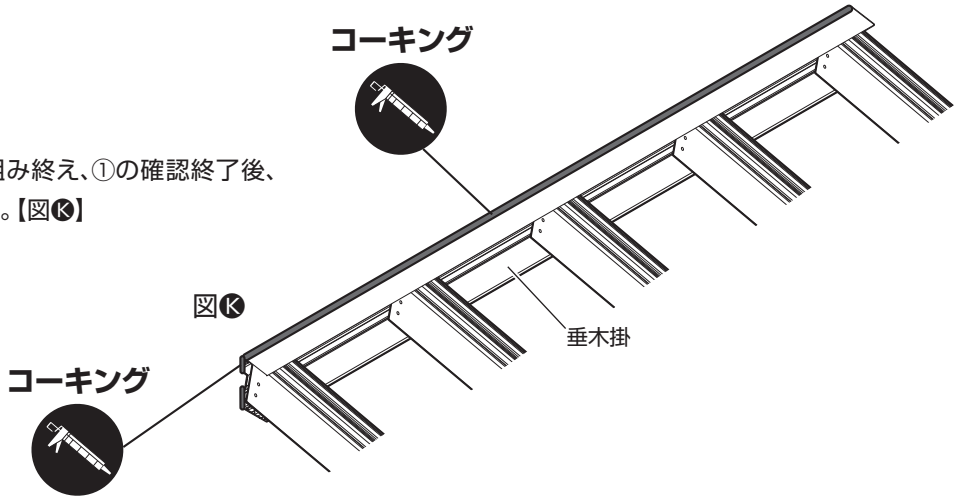
○**A, A′, A′′**の寸法が同一寸法であることを確認してください(誤差は5mm以内)

○**B, B′**の寸法が同一寸法であることを確認してください(誤差は5mm以内)



カフェスタイル
カフェスタイル 腰壁タイプ
壁付 のみ

②**桁**、**垂木**、**垂木掛**をすべて組み終え、①の確認終了後、十分コーキングしてください。【図Ⓚ】



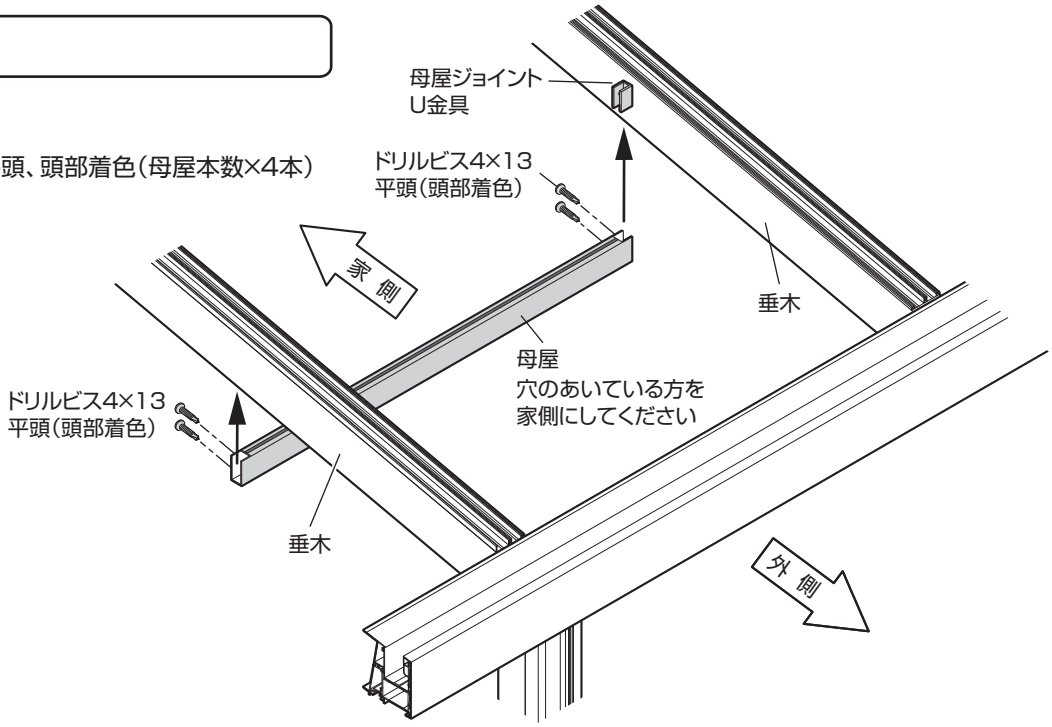
図Ⓚ

組立・施工

⑱ 母屋の取り付け

垂木に**母屋**を取り付けます。

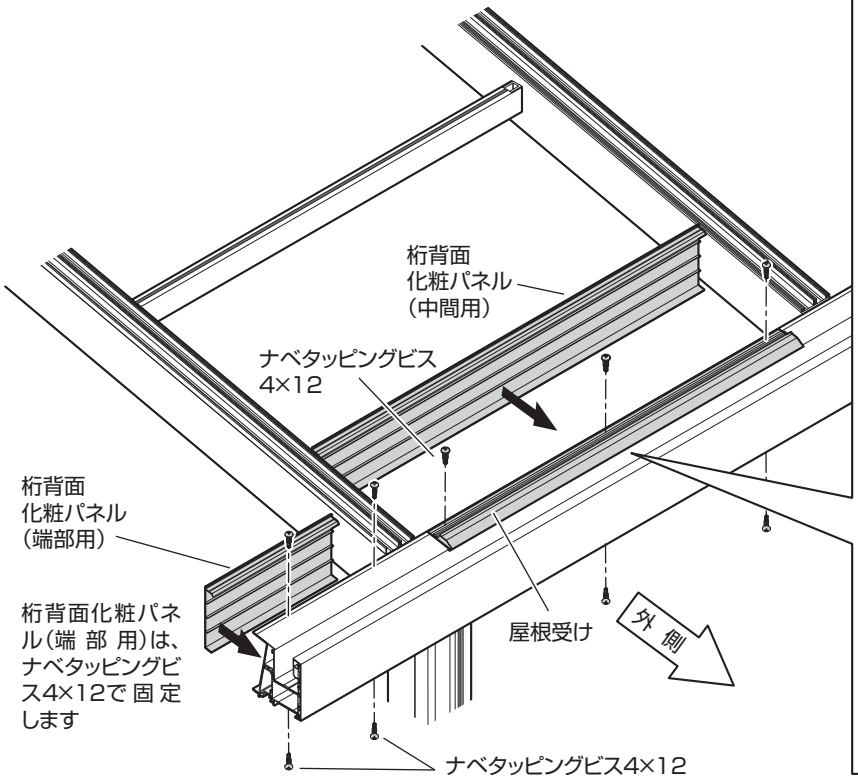
●ビス：ドリルビス4×13平頭、頭部着色（母屋本数×4本）

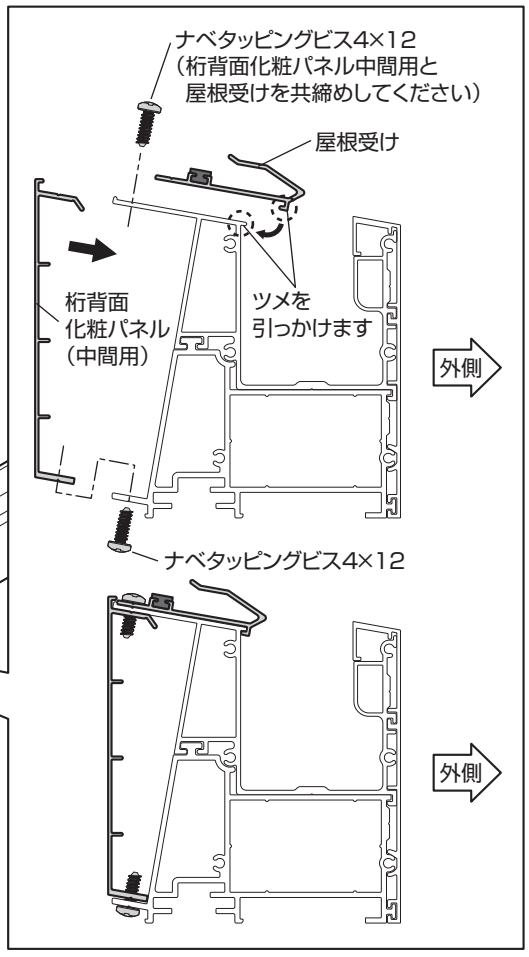


⑲ 屋根受け、桁背面化粧パネルの取り付け

桁に**屋根受け**、**桁背面化粧パネル**を取り付けます。

●ビス：ナベタッピングビス4×12（屋根受け本数×3本）





組立・施工

⑳⇨㉑⇨㉒は、端から1スパンずつ取り付けてください。

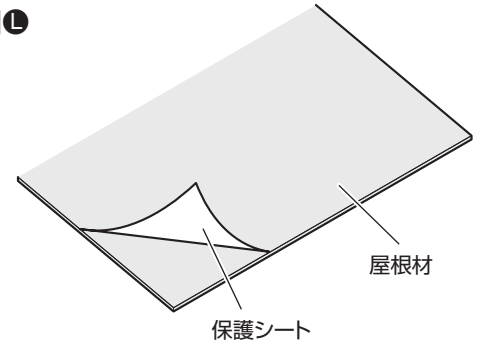
⑳ 屋根材の取り付け

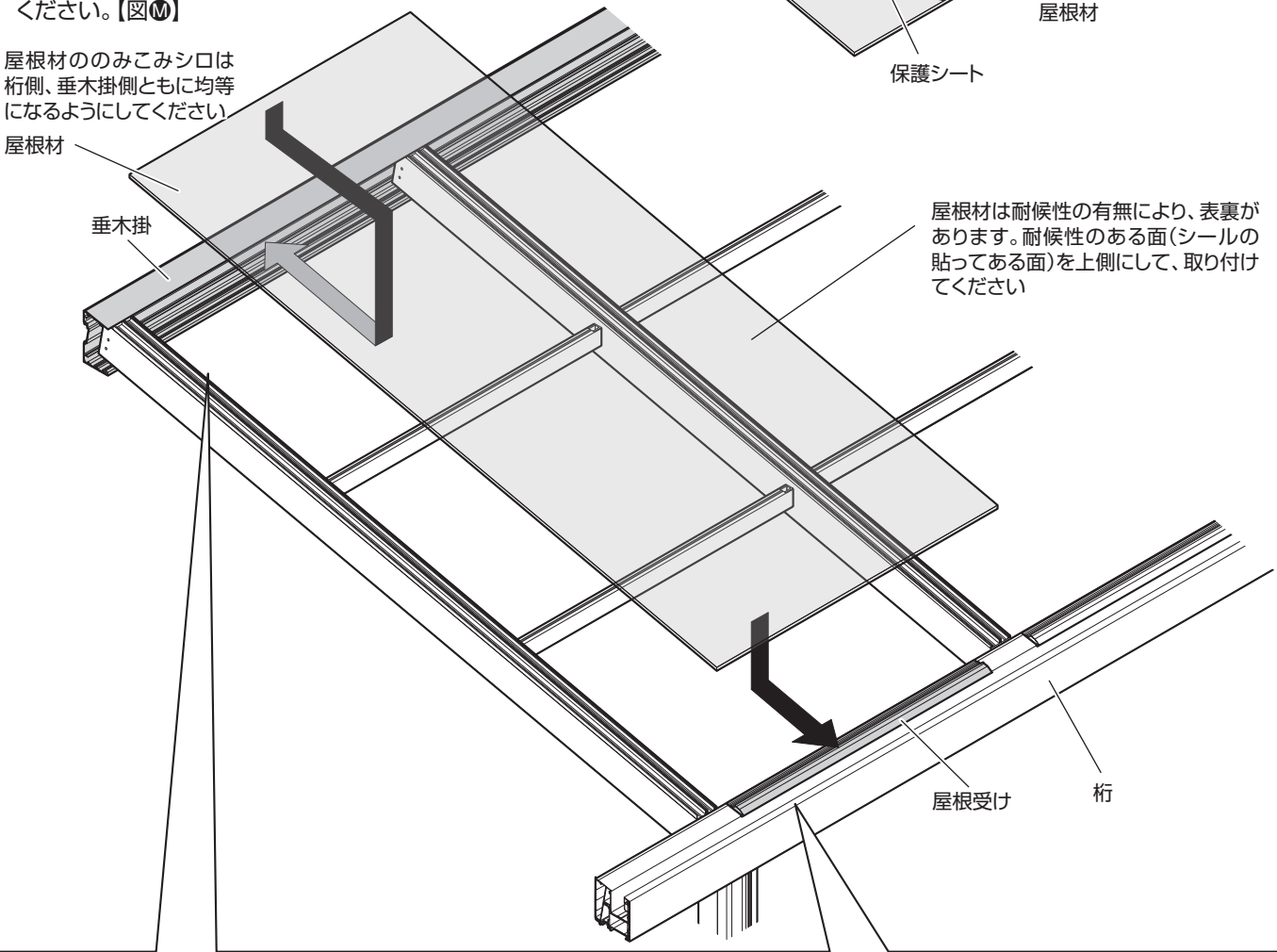
①**屋根材**の保護シートをはがし、一方より順番に取り付けてください。【図Ⓛ】

②**屋根材**を**垂木掛**の溝部に突き当ててください。【図Ⓜ】

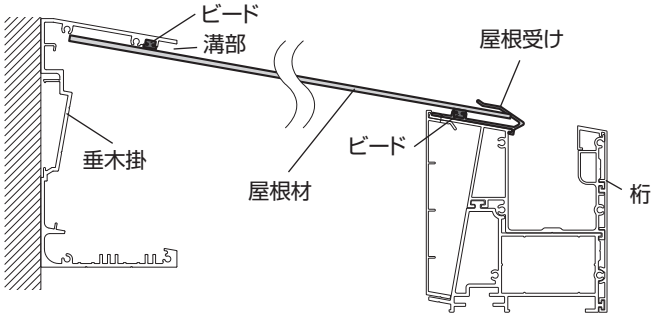
③**屋根受け**の溝部に**屋根材**をはさみ込み、奥まで差し込んでください。【図Ⓜ】

図Ⓛ

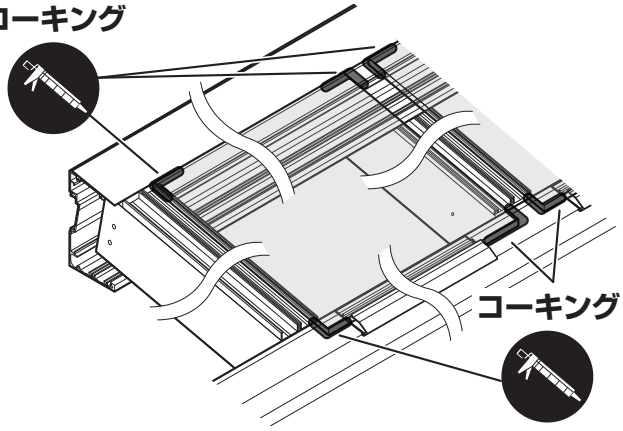




図Ⓜ



コーキング



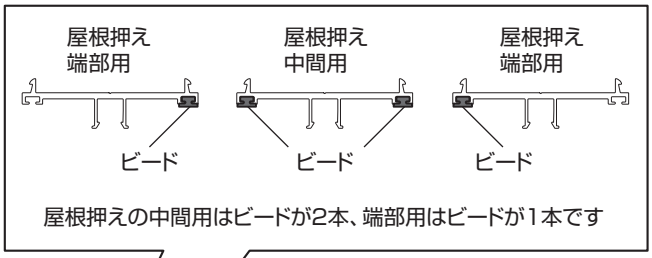
組立・施工

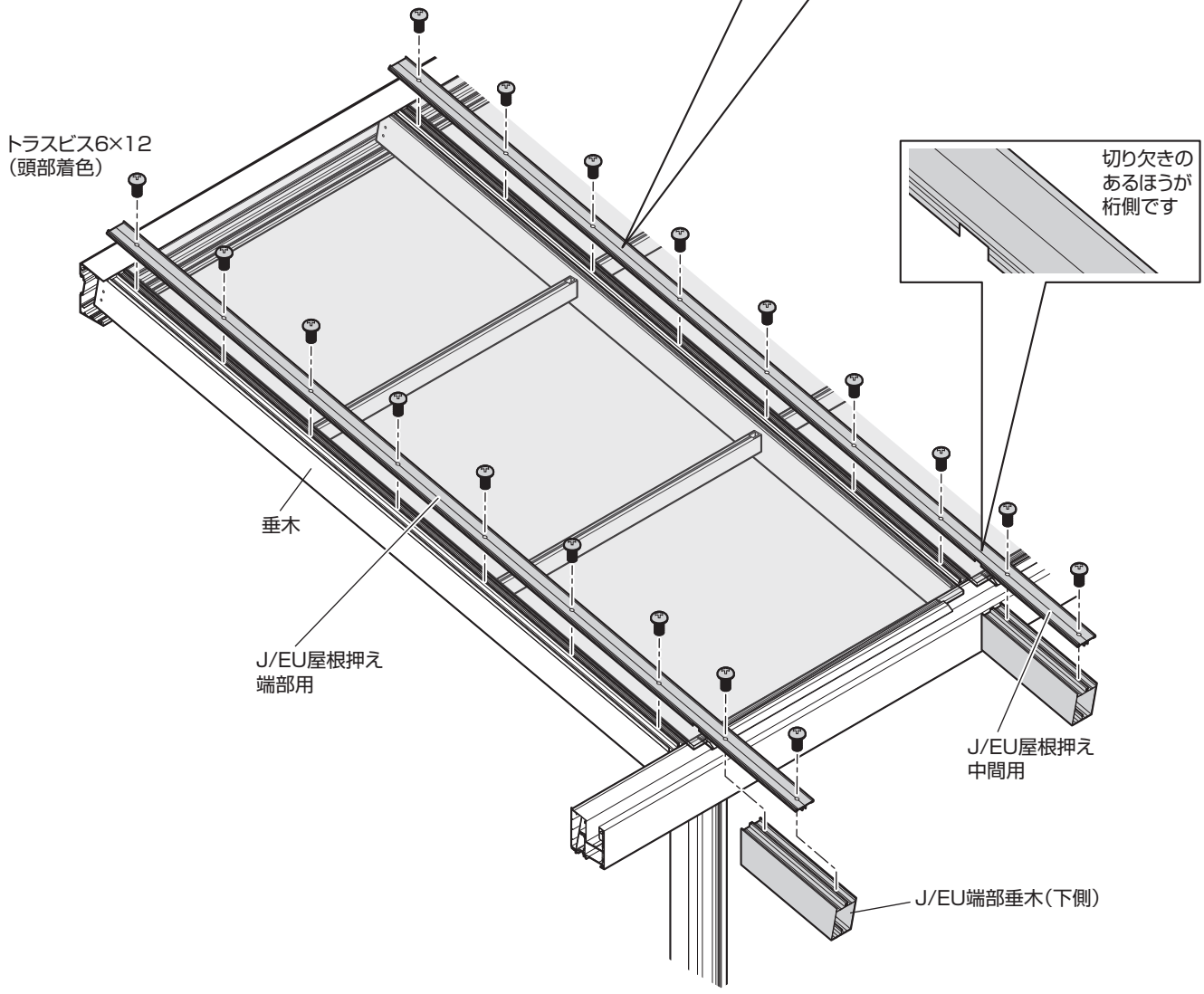
⑳⇨㉑⇨㉒は、端から1スパンずつ取り付けてください。

㉑ 屋根押え、端部垂木、屋根押えカバーの取り付け

①**垂木**に**屋根押え**を、**屋根押え**の桁側に**J/EU端部垂木**を取り付けてください。

●ビス：トラスビス6×12頭部着色

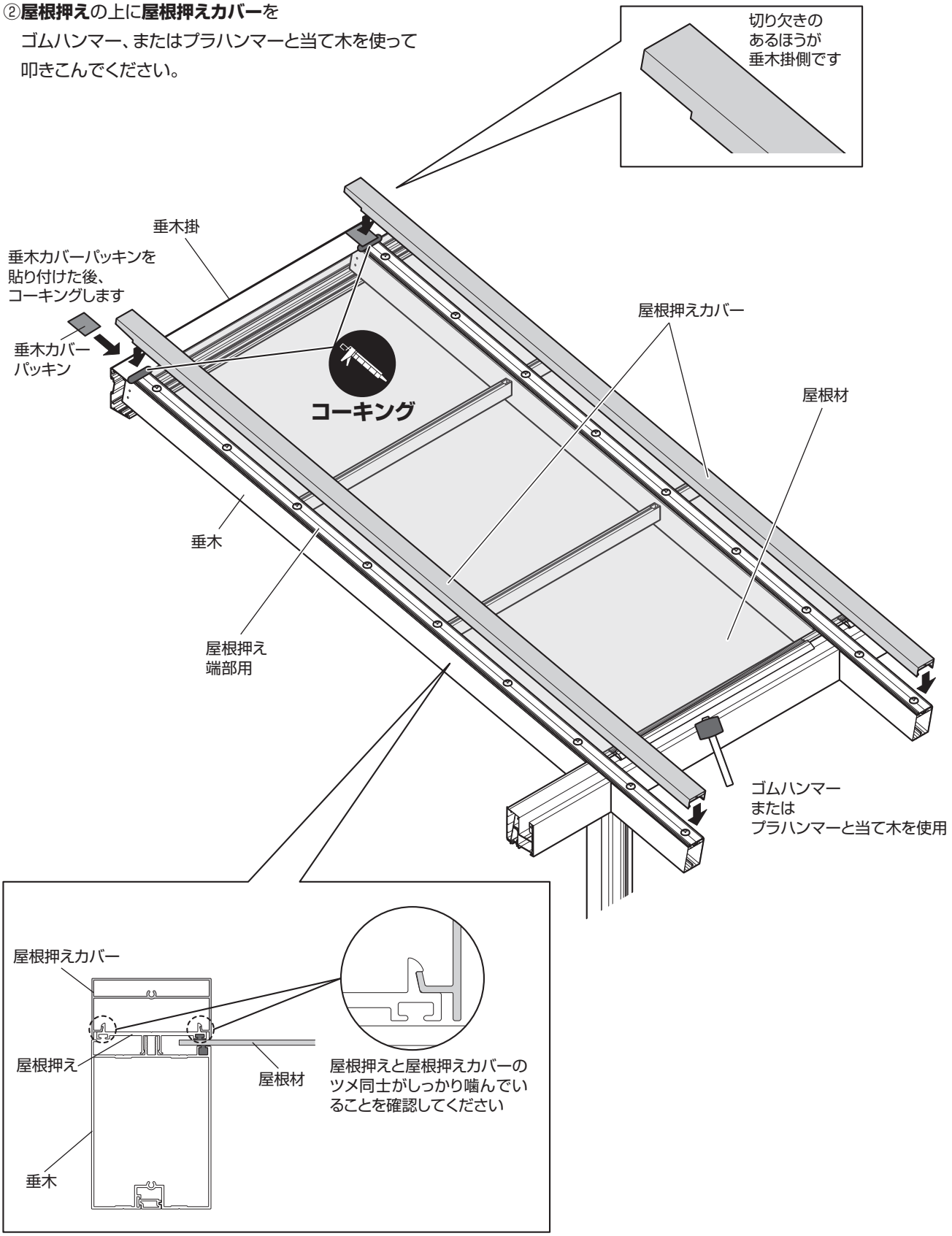




組立・施工

⑳⇨㉑⇨㉒は、端から1スパンずつ取り付けてください。

②**屋根押え**の上に**屋根押えカバー**を
ゴムハンマー、またはプラハンマーと当て木を使って
叩きこんでください。

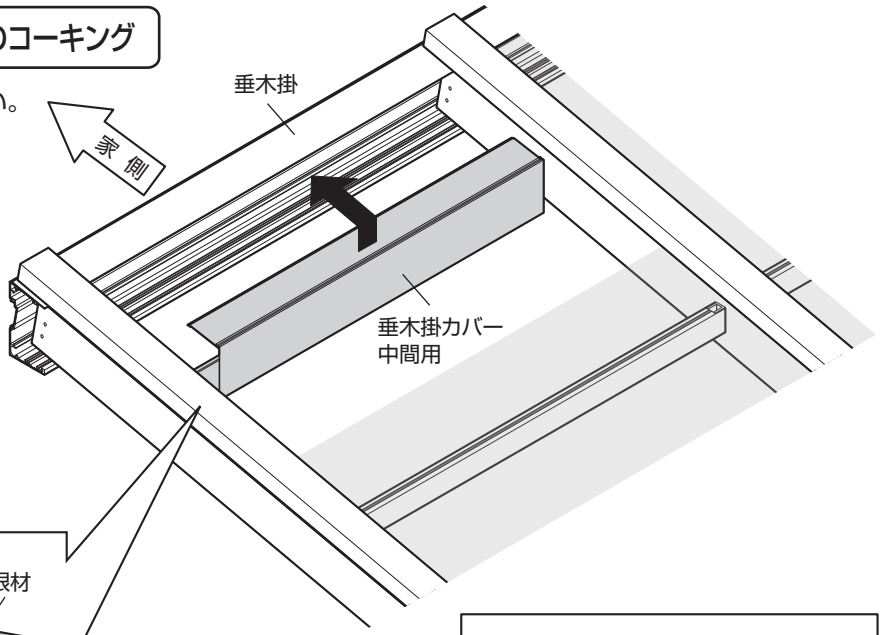


組立・施工

⑳⇨㉑⇨㉒は、端から1スパンずつ取り付けてください。

㉒ 垂木掛カバーの取り付け、屋根周りのコーキング

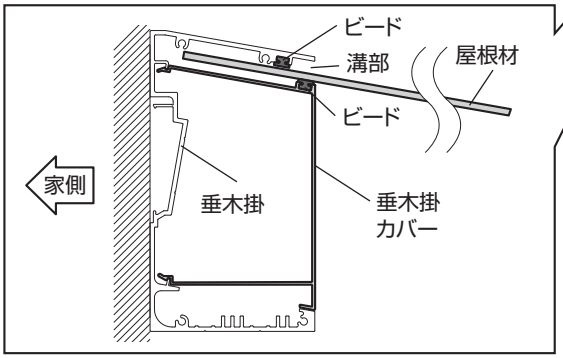
①**垂木掛**に**垂木掛カバー**をはめ込んでください。

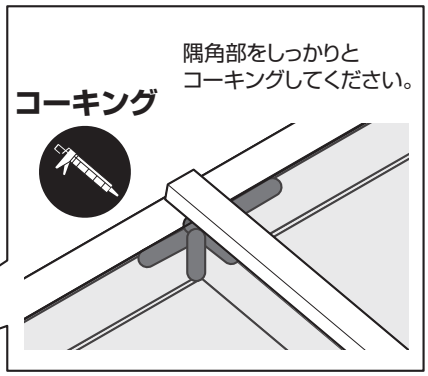


⚠ ご注意

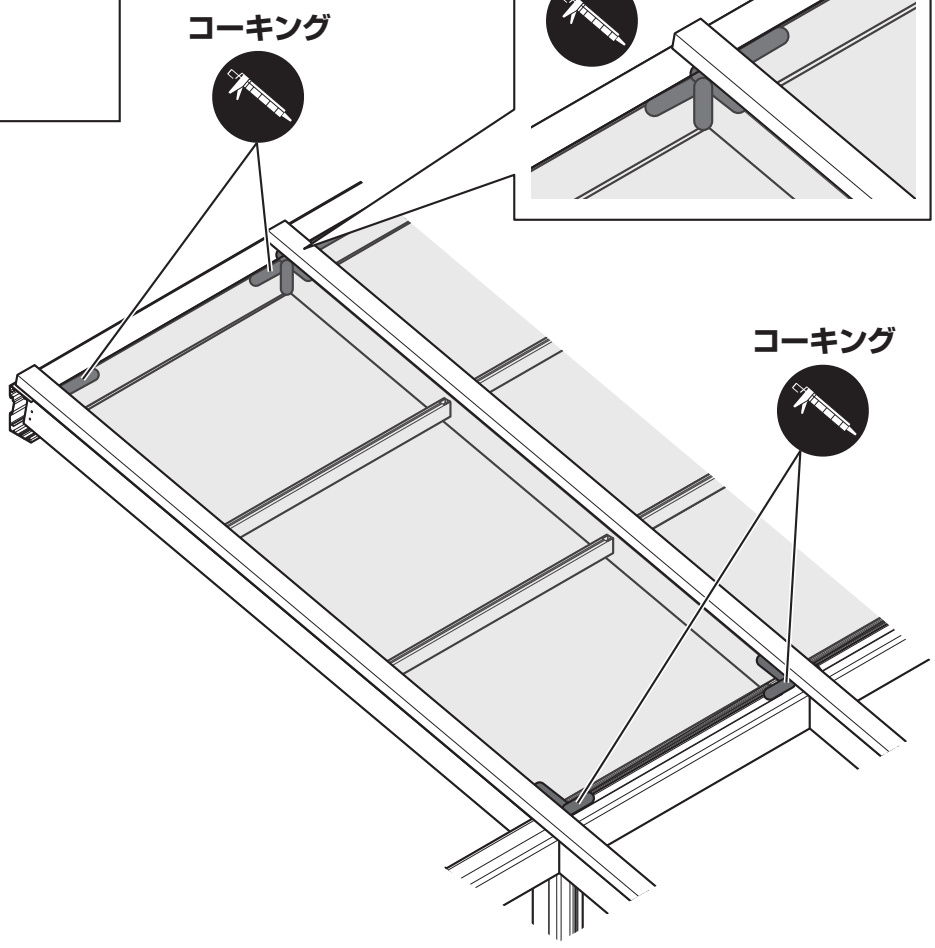
○**垂木掛カバー**は、一度はめ込むと外せません。取り付ける前に、部材の長さの確認を入念に行ってください。

○はめ込む際に、部材の端部で**垂木**の木目ラッピング面を傷付けないようご注意ください。





②**屋根押えカバー**と**垂木掛**、**屋根材**の接合部をコーキングしてください。



⚠ ご注意

屋根材(ポリカーボネート板)にコーキングを行う際は、ヒビ割れなどが考えられますので、アルコール系コーキング材(ポリカシール等)を使用してください。通常のシリコンコーキングを使用すると、数年でポリカーボネート板が溶け出し、雨漏りの原因となることがあります。

組立・施工

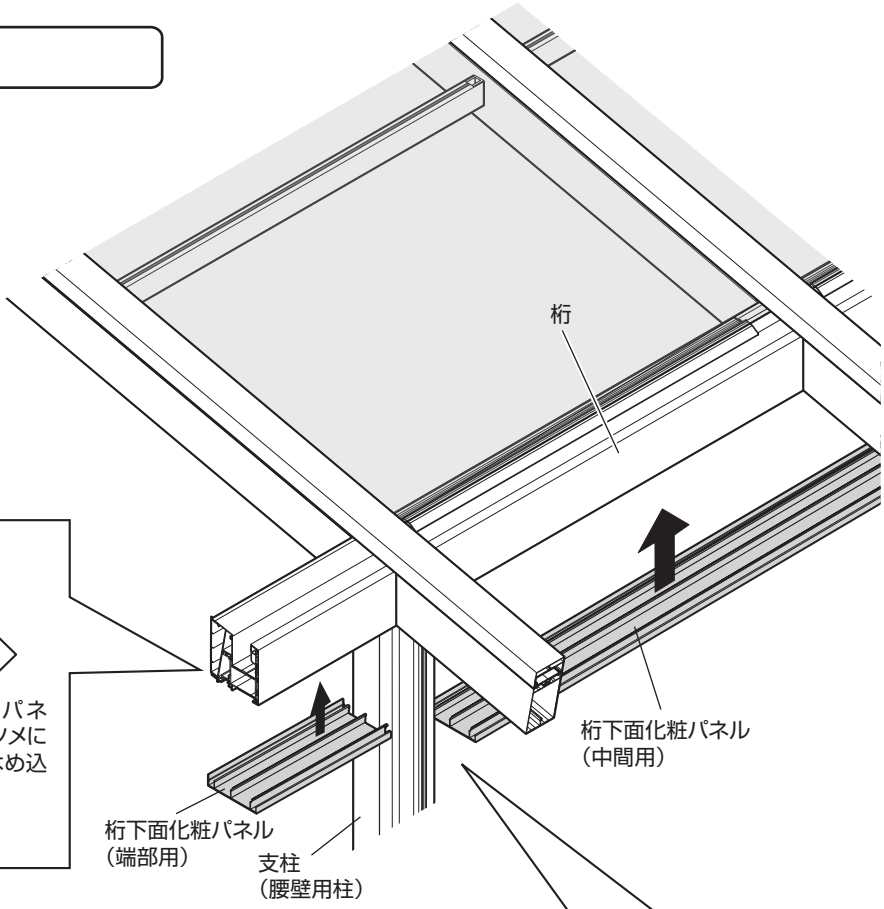
㉓ 桁下面化粧パネルの取り付け

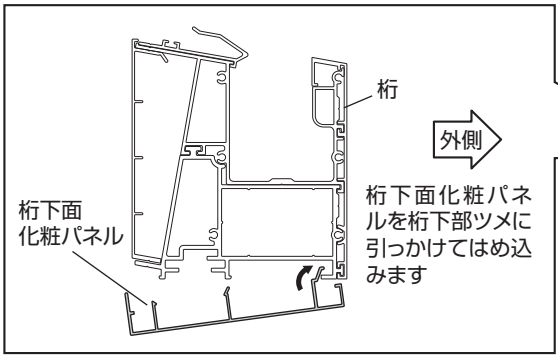
桁に**桁下面化粧パネル**をはめ込んでください。

ポイント

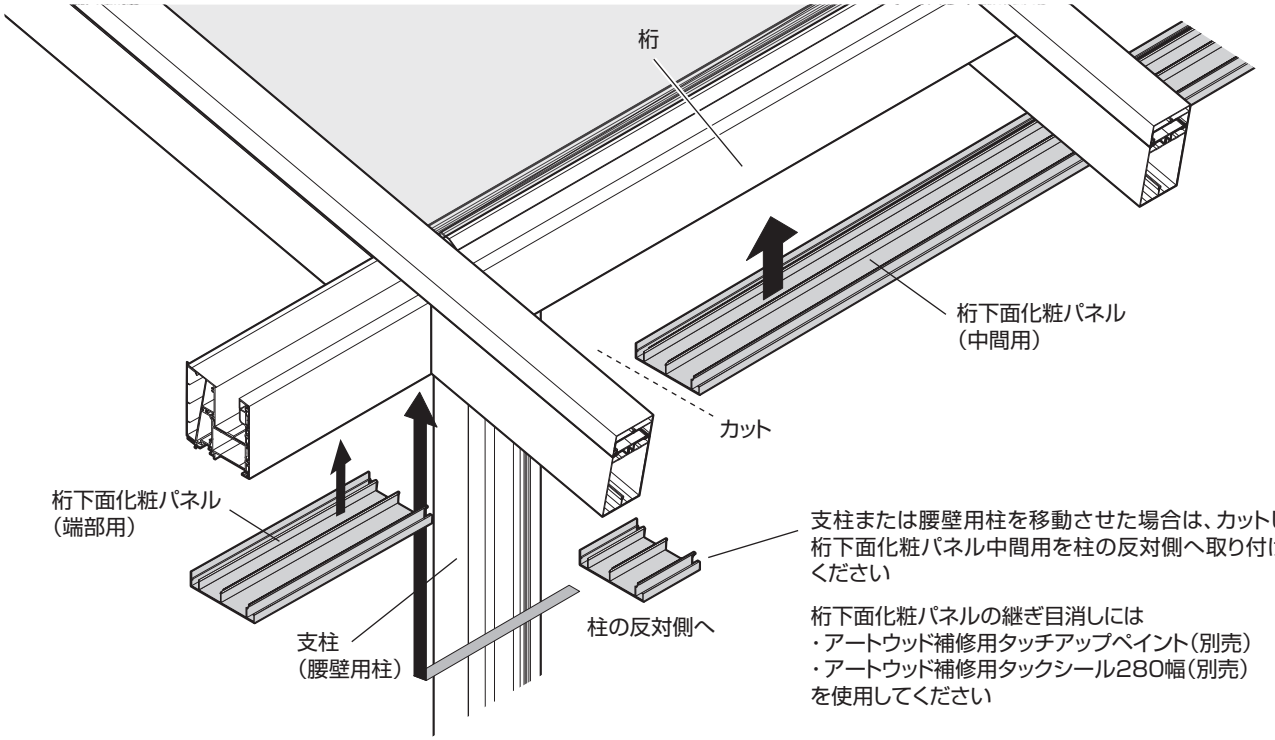
○**桁下面化粧パネル**は、固めのはめ込み式になっております。当て木をして、プラハンマー等でたたき込んでください。

○**桁下面化粧パネル**は、現場の支柱位置にあわせて、切断してください。





■支柱または腰壁用柱を移動させた場合



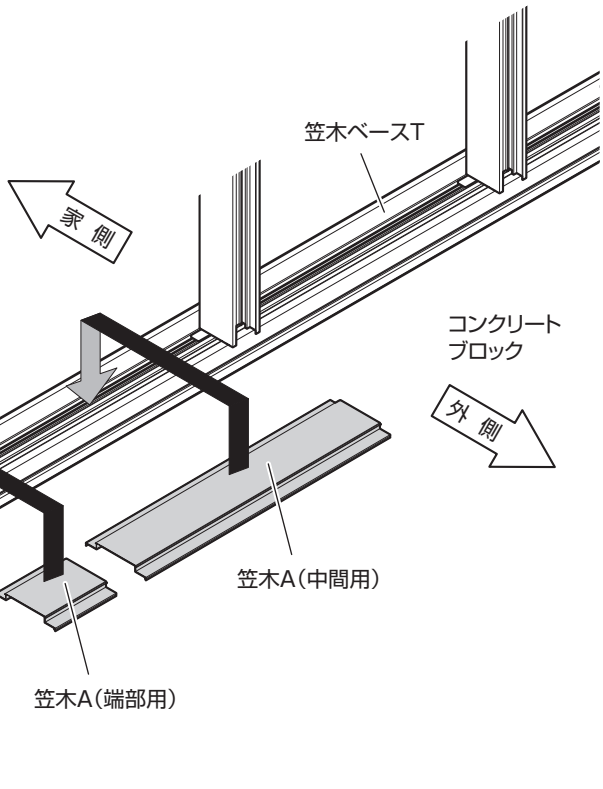
支柱または腰壁用柱を移動させた場合は、カットした桁下面化粧パネル中間用を柱の反対側へ取り付けてください

桁下面化粧パネルの継ぎ目消しには
・アートウッド補修用タッチアップペイント(別売)
・アートウッド補修用タックシール280幅(別売)
を使用してください

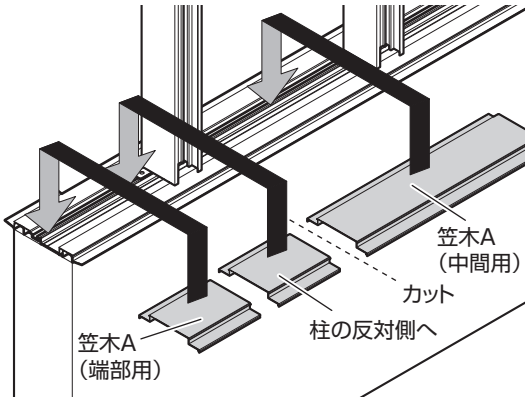
組立・施工

㉔ 笠木Aの取り付け（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）

笠木ベースTに**笠木A**をはめ込んでください。



■腰壁用柱を移動させた場合



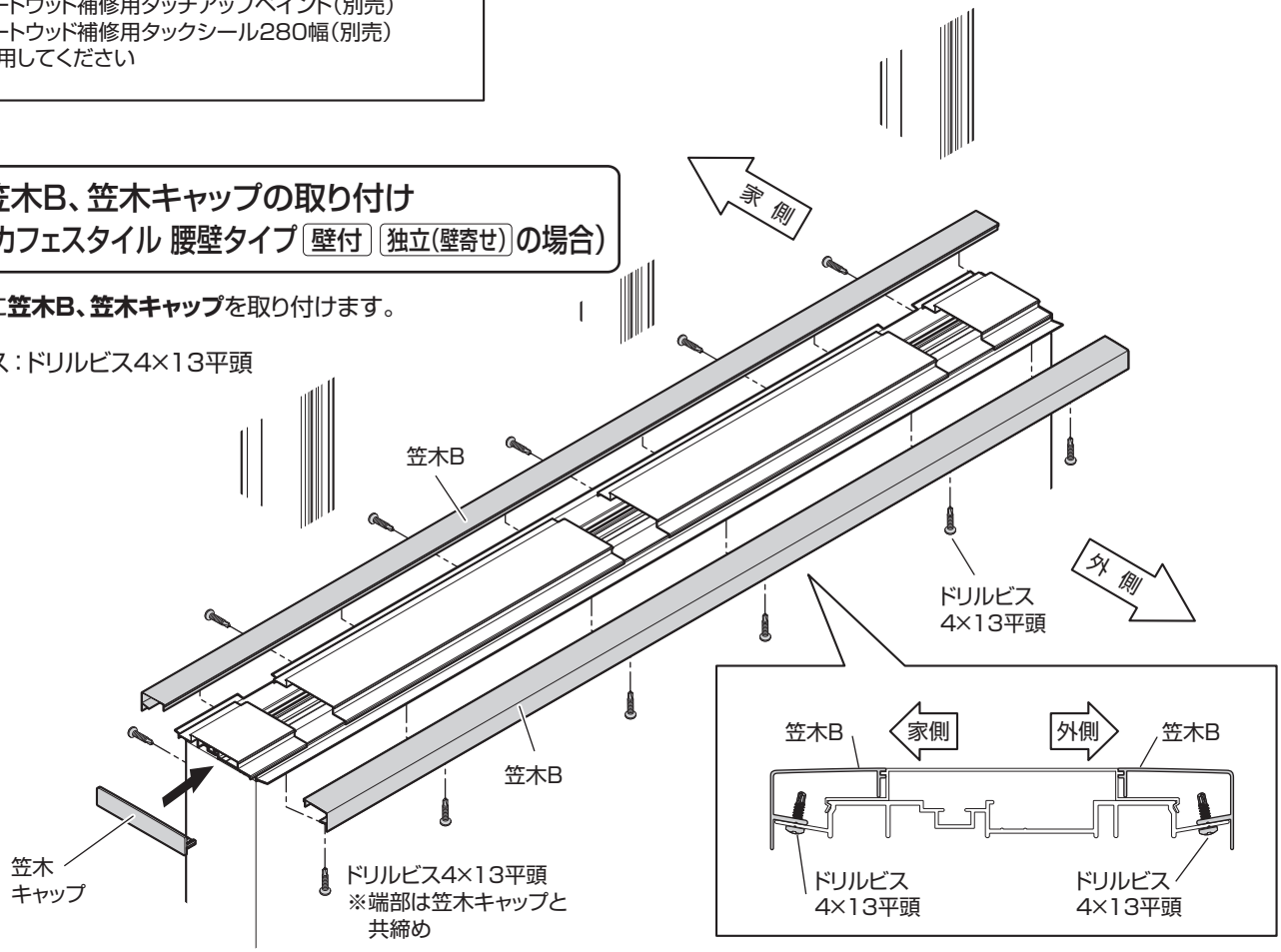
腰壁用柱を移動させた場合は、カットした笠木A（中間用）を柱の反対側へ取り付けてください

笠木Aの継ぎ目消しには
・アートウッド補修用タッチアップペイント（別売）
・アートウッド補修用タックシール280幅（別売）
を使用してください

㉕ 笠木B、笠木キャップの取り付け（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）

笠木Aに**笠木B、笠木キャップ**を取り付けます。

●ビス：ドリルビス4×13平頭



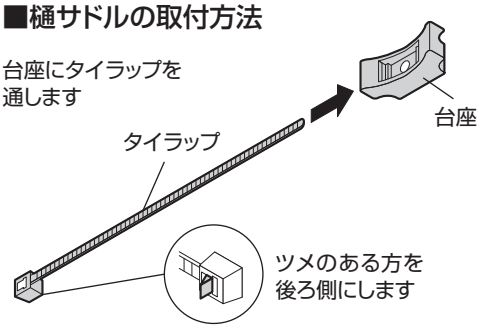
組立・施工

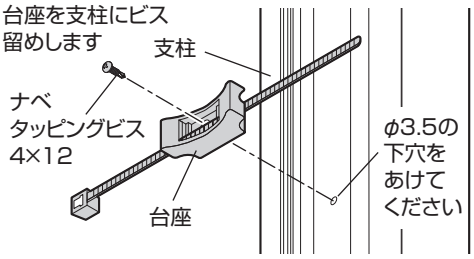
㉖ 縦樋の取り付け

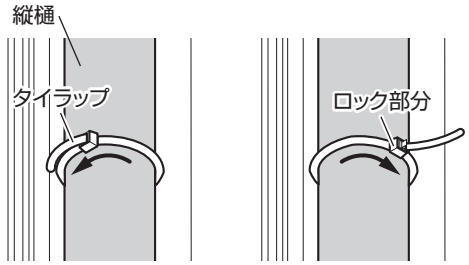
①**樋サドル**を**支柱**に取り付けます。
②**縦樋**を切断します。
（カフェスタイル標準施工時：2435.5mm）
（カフェスタイル腰壁タイプ標準施工時：1590mm）
支柱カバー(樋穴付)と合わせて、**樋エルボ**と樋穴が合うことを確認します。
③**縦樋**を**樋口**に接着剤で固定します。
④**縦樋**と**樋エルボ**を接着剤で固定します。

●ビス：ナベタッピングビス4×12(2本)

■樋サドルの取付方法



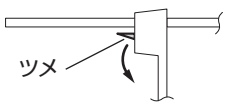




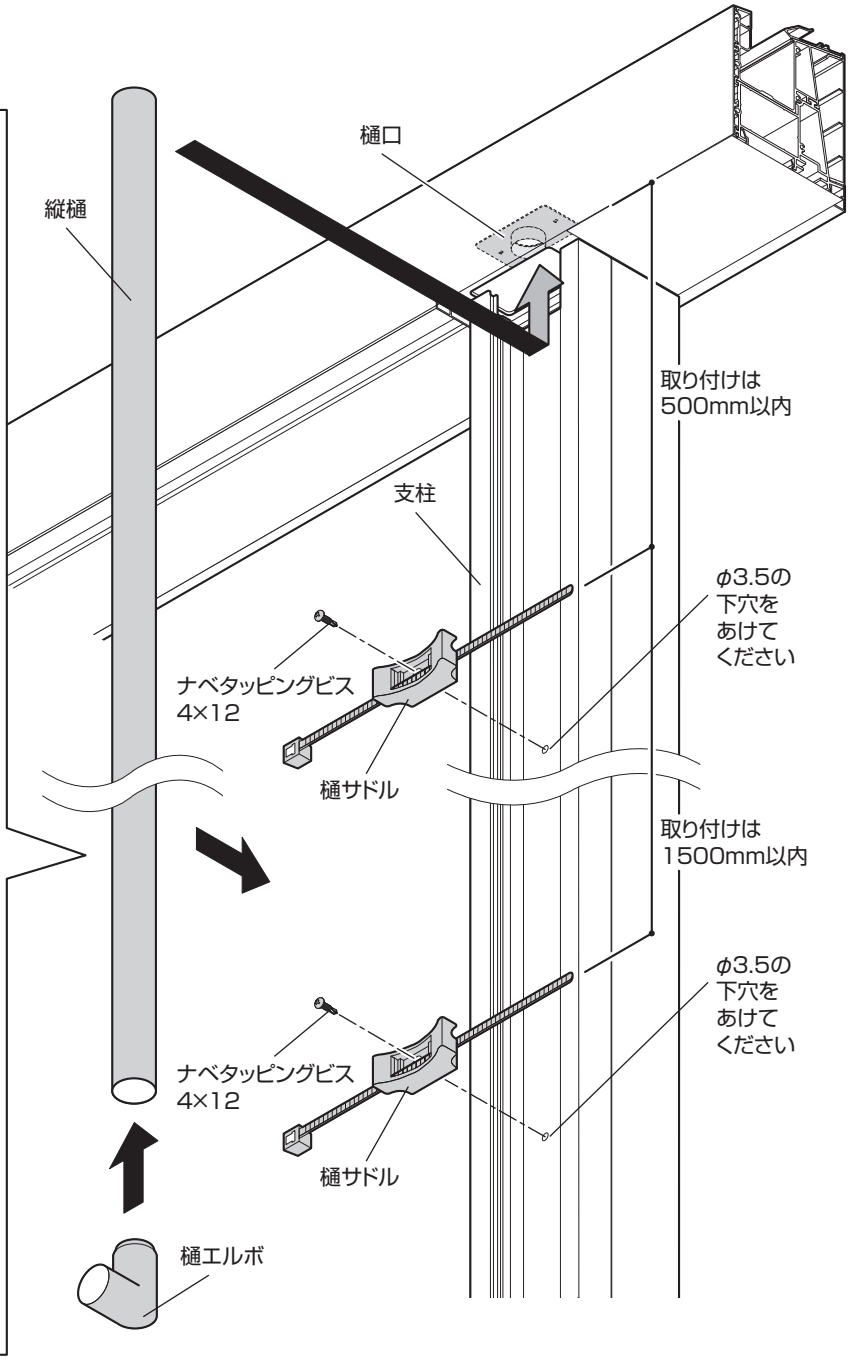
タイラップを縦樋に巻きつけます

タイラップのロック部分を「㉚㉛支柱カバーの取り付け」の工程に影響のない位置までずらします

■タイラップをゆるめる場合



ツメを下に押し下げるとタイラップがゆるみます



組立・施工

㉗ キャップ類の取り付け

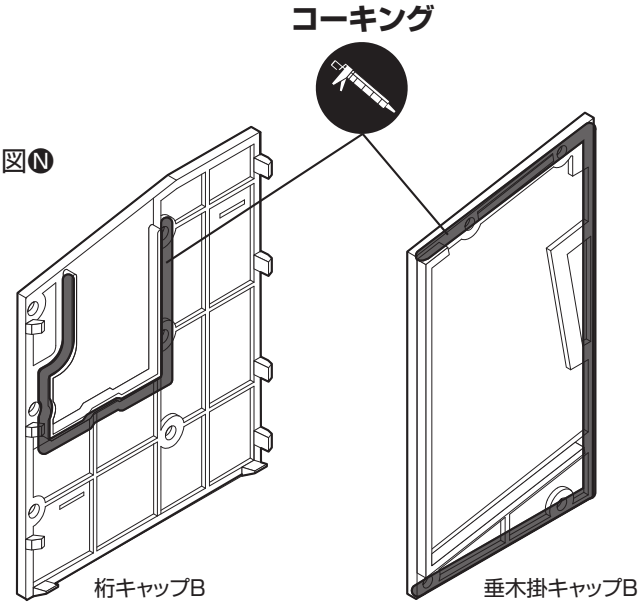
①**桁キャップB**、**垂木掛キャップB**にそれぞれコーキングしてください。【図Ⓝ】

②**桁キャップB**、**垂木掛キャップB**、**J/EU垂木キャップB**をそれぞれ**桁**、**垂木掛**、**J/EU端部垂木**に固定してください。【図Ⓞ】

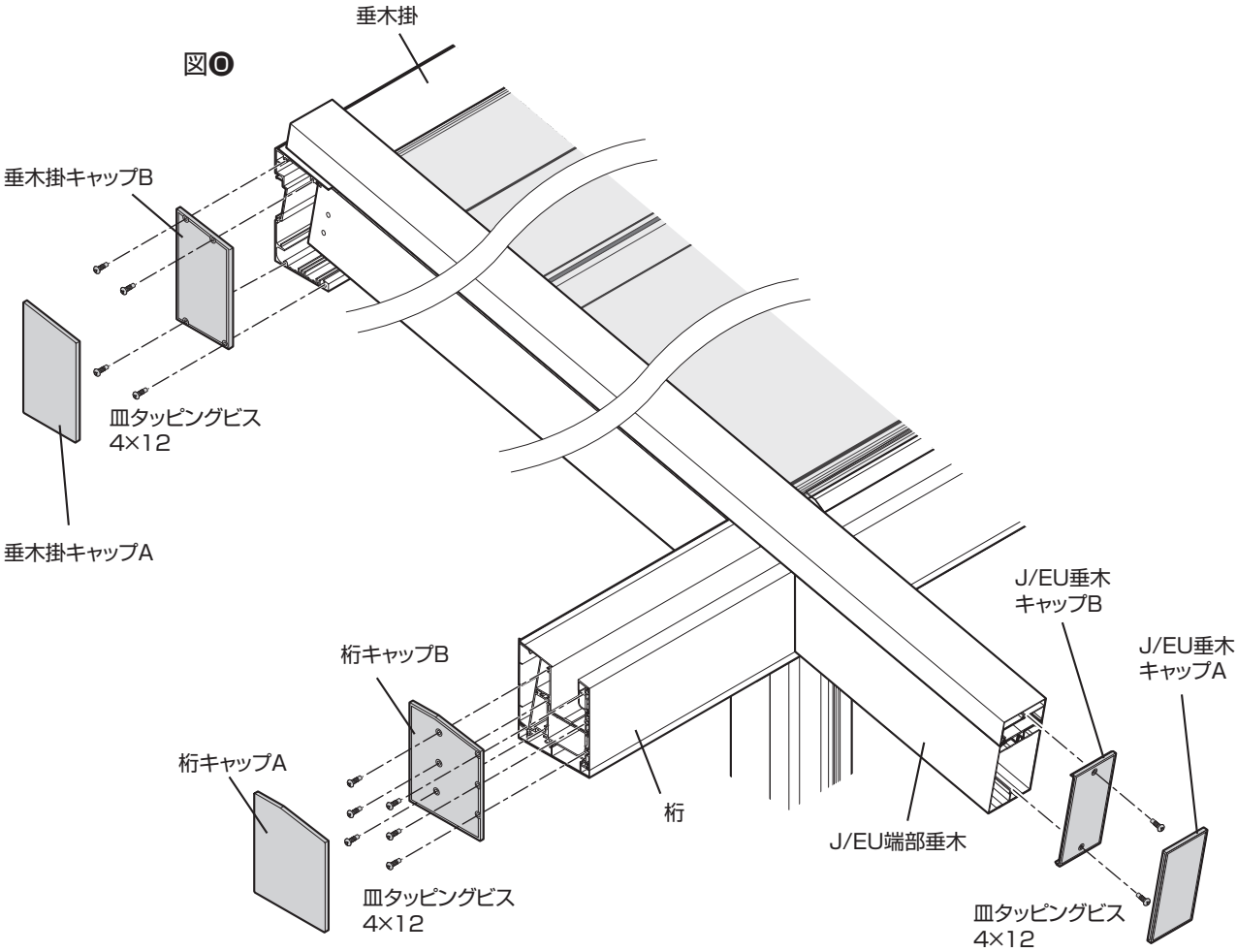
③**桁キャップA**、**垂木掛キャップA**、**J/EU垂木キャップA**をそれぞれ**桁キャップB**、**垂木掛キャップB**、**J/EU垂木キャップB**にはめ込みます。少量の接着剤を併用してください。【図Ⓞ】

●ビス：皿タッピングビス4×12

図Ⓝ

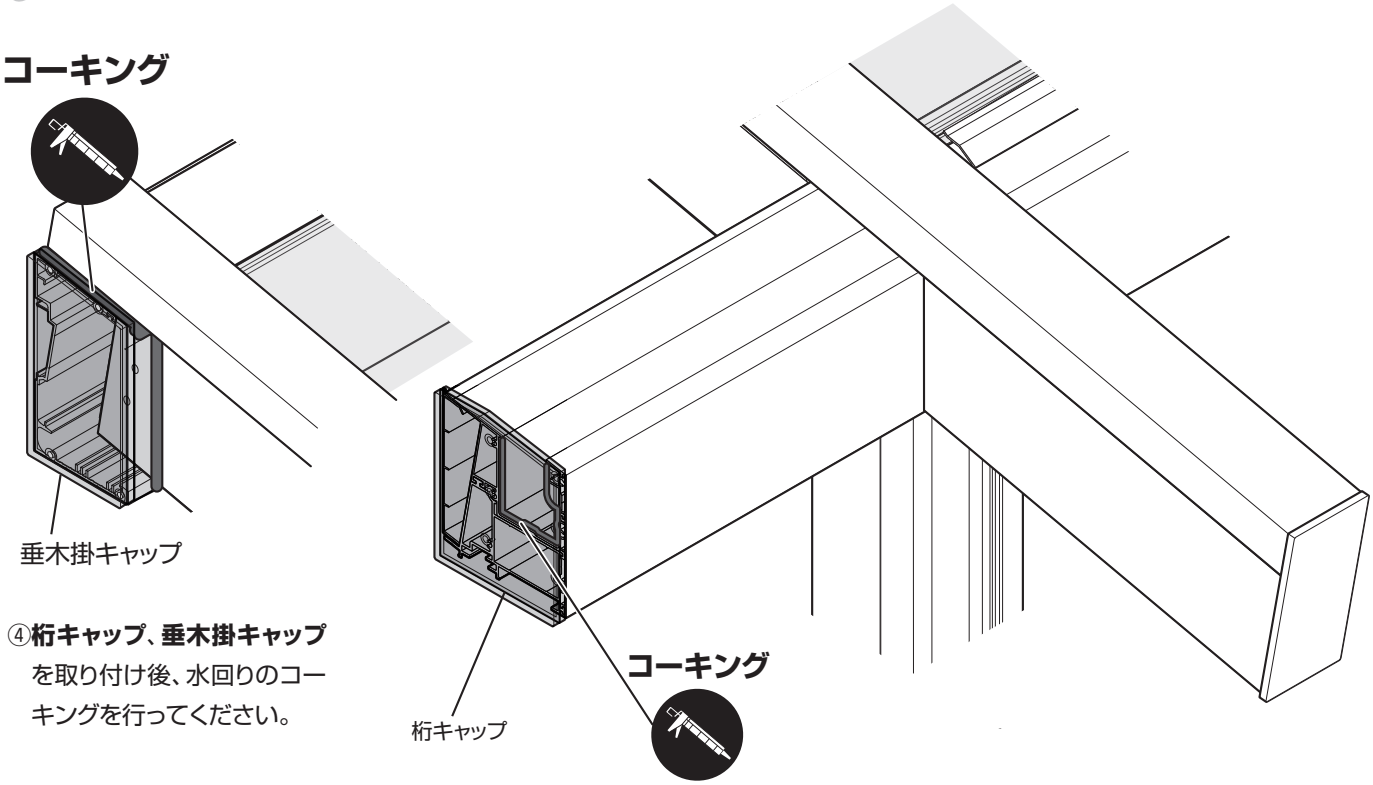


図Ⓞ



組立・施工

コーキング

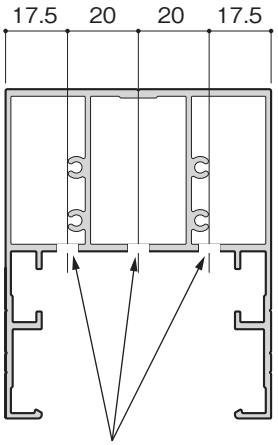


④**桁キャップ、垂木掛キャップ**
を取り付け後、水回りのコーキングを行ってください。

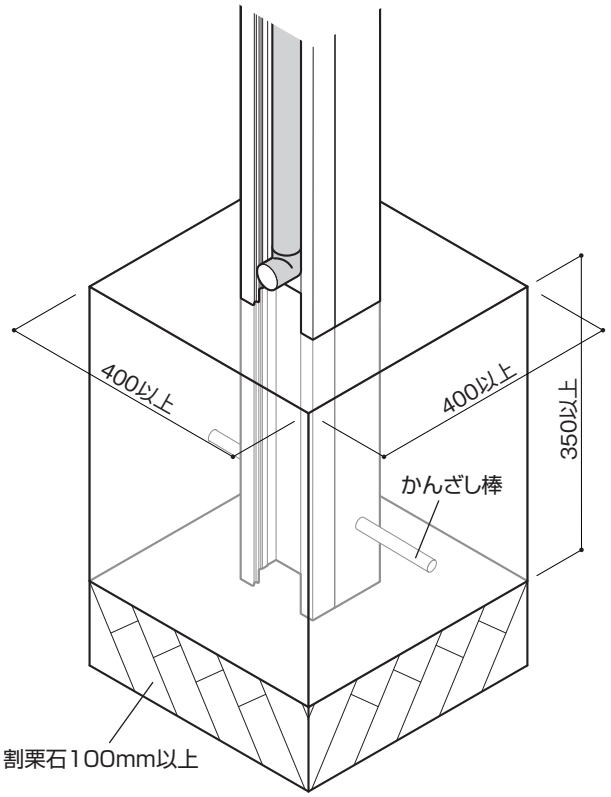
㉘ 支柱の埋設（カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合）

①組立終了後、設置位置および水平、垂直を確認し、コンクリートを流し込んでください。

②支柱は、基礎から20mm上に、φ6程度の水抜き穴をあけてください。



水抜き穴位置（3カ所）
基礎から20mm上の位置に穴をあけます

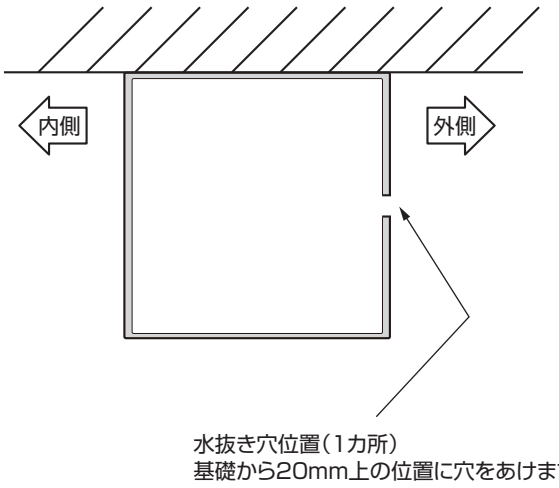


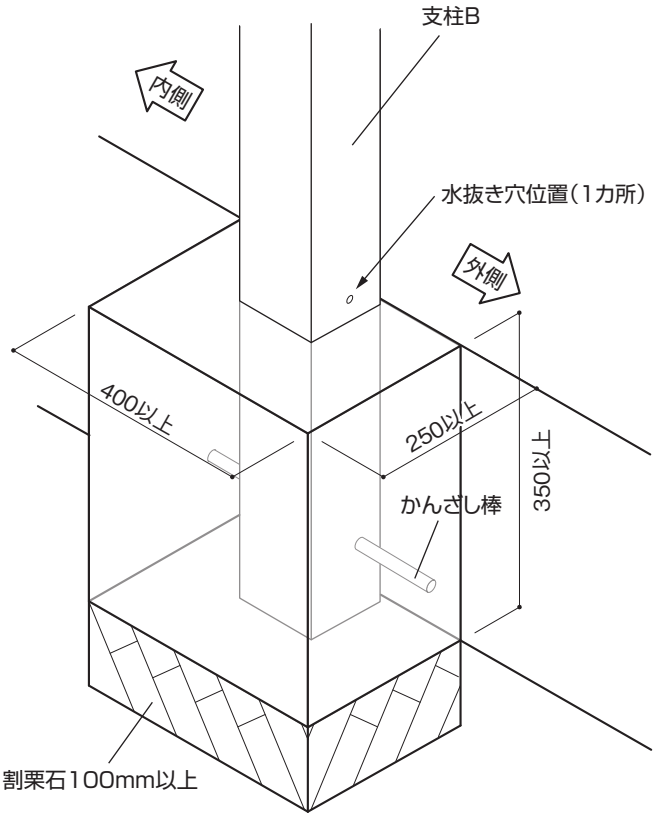
組立・施工

㉙ 支柱Bの埋設
（カフェスタイル 独立(壁寄せ) 、カフェスタイル 腰壁タイプ 独立(壁寄せ) の場合）

①組立終了後、設置位置および水平、垂直を確認し、コンクリートを流し込んでください。

②支柱Bは、基礎から20mm上に、φ6程度の水抜き穴をあけてください。

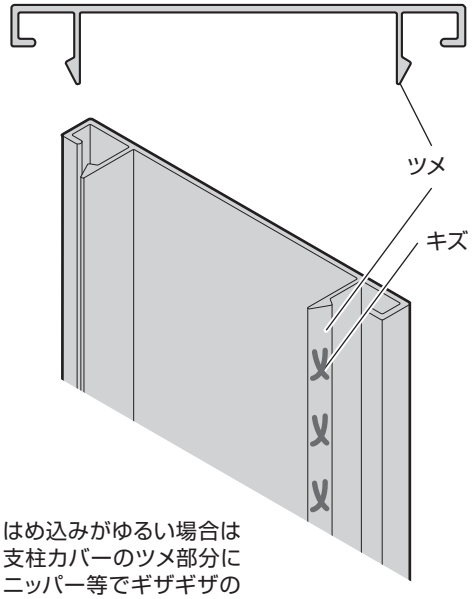




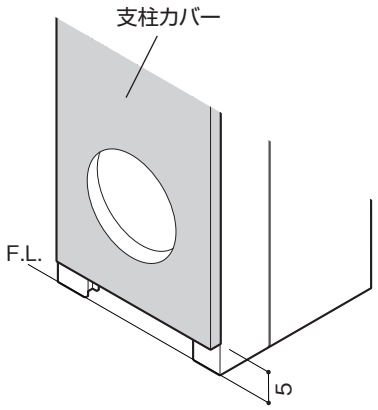
組立・施工

㉚ 支柱カバーの取り付け（カフェスタイル 壁付 独立(壁寄せ) の場合）

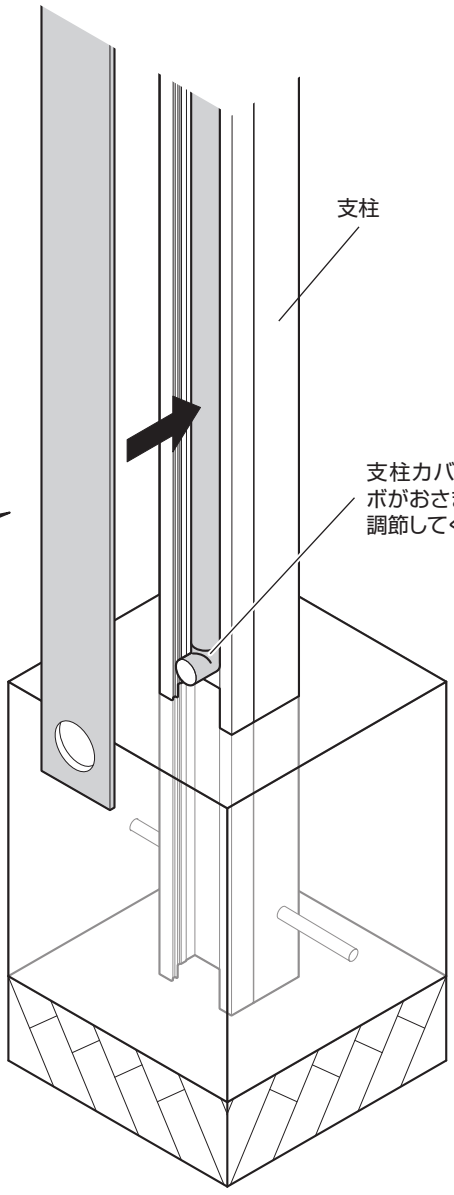
支柱埋設後、**支柱カバー**を取り付けます。



はめ込みがゆるい場合は支柱カバーのツメ部分にニッパー等でギザギザのキズを付けてください



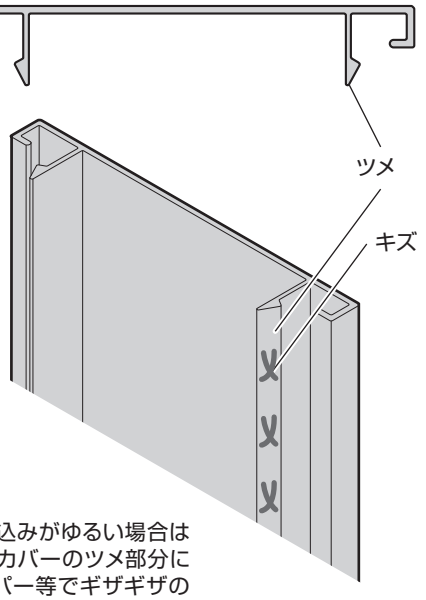
支柱カバーは、施工後も取り外しができるように、F.L.から5mmすき間をあけて取り付けてください。縦樋の掃除などのメンテナンス時に利用します
施工後、支柱カバーの取り外しには、マイナスドライバーまたはカー用品の内装はがし等を使用してください



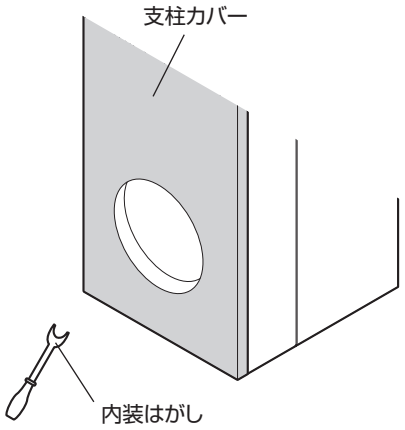
組立・施工

㉛ 支柱カバーの取り付け（カフェスタイル 腰壁タイプ 壁付 独立(壁寄せ)の場合）

腰壁用柱取付後、**支柱カバー**を取り付けます。



はめ込みがゆるい場合は
支柱カバーのツメ部分に
ニッパー等でギザギザの
キズを付けてください



施工後、支柱カバーの取り外しには、マイナスドライバーまたはカー用品の内装はがし等を使用してください
※外しにくい場合は、笠木B(外側)下面のドリルビス4×13(平頭)を外し、笠木B(外側)を外してから、支柱カバーを外してください